Panasonic®

取扱説明書

（セットアップ編）

フルカラーデジタル複合機

品番 DP-C262/C262F
DP-C322/C322F

● 本機のセットアップを行うときに必ずお読みください。

目次

WORKIO™

このたびは、パナソニック フルカラーデジタル複合機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■**特に『取扱説明書（基本編）』の「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**

お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

●イラストはオプションを装着した例です。
詳しくは「取扱説明書（基本編）」を参照してください。

上手に使って上手に節電

セットアップの概要

本機は、下記の手順でセットアップしてください。

- 本書では、本機の操作パネルでの操作と、コンピューター側にソフトウェアをインストールする操作の両方を説明しています。
- 最初に、手順全体をお読みいただき、概要を把握してから実際のセットアップを行うことをお勧めします。

1 本機の電源を入れる

電源スイッチ、スタンバイスイッチの順に電源を入れます。

・電源スイッチ　　：背面にあります。
・スタンバイスイッチ：左側面にあります。

- 本機の電源は、電源スイッチとスタンバイスイッチの両方を「入」にしないと入りません。
- 本機をUSBで接続する場合は、電源を先に入れないでください。プリンタードライバーのインストール中に、本機の電源を入れるメッセージが表示されます。電源は、このときに入れます。

電源スイッチ

| ：入
⏻：切

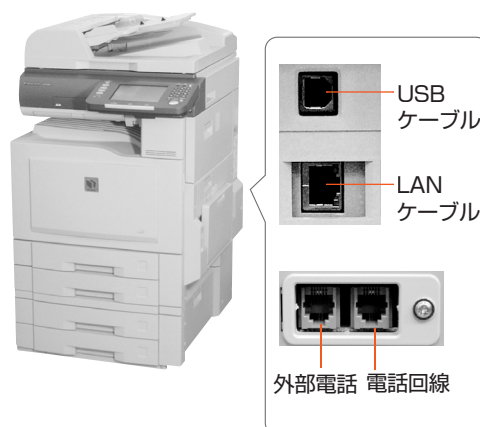
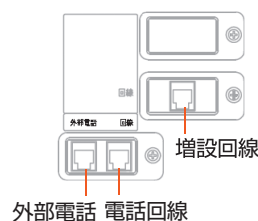
・長期間使用しないときは、「切」にされることをお勧めします。

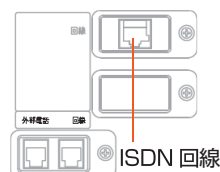
スタンバイスイッチ

| ：入
⏻：切

・始業時「入」、終業時「切」にします。
・以降のセットアップ手順で電源を入り、切りするときは、このスイッチの操作で行います。

2 ケーブルを接続する

オプションの装着状況に合わせ、必要なケーブルを接続します。

- USBケーブルは本機をローカルプリンターとして使用するときに接続します。
- DP-C262/DP-C322の場合、電話回線は、オプションのG3通信ユニット(DA-FG321)が装着されているときに接続します。
- オプションのG3増設ユニット（DA-FG322）を装着している場合は、次の図にしたがって、電話回線を接続します。

- オプションのG4通信ユニット（DA-FG323）を装着している場合は、次の図にしたがって、ISDN回線を接続します。

セットアップの概要

お願い

下記のセットアップ手順は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。
お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、コンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムに付属のマニュアルをお読みください。

3 ネットワーク環境を設定する

本機の操作パネルで、ネットワーク環境を設定します (p.6)。

4 プリンタードライバー / ファクスドライバーをインストールする

プリンタードライバーのインストール方法は本機とコンピューターの接続方法により異なります。インストールする前に、システム管理者にご相談ください。本機とコンピューターの接続方法については、p.5 の図を参照してください。

- ローカル接続用とネットワークプリンター用のプリンタードライバーを別々にインストールしてもそれぞれ問題なく使用することができます。

Windows ネットワーク接続：

プリンタードライバーのインストールには、次の 2 つの方法があります。

(A) ダイレクト接続

プリンタードライバーをコンピューターにインストールし、ネットワークのプリントサーバーを経由せず、直接ネットワーク上のプリンターの IP アドレスを設定して使用します (p.11 ～ 13)。

(B) ネットワークプリントサーバー接続

① ネットワークプリントサーバーを設定します。
プリンタードライバーをネットワークプリントサーバーにインストールして、共有設定を行います (p.14 ～ 23)。
② クライアントコンピューターを設定します。
ネットワーク上のプリンターを検索し、プリンタードライバーをインストールします (p.24)。

ローカル (USB) 接続 :

プリンタードライバーをコンピューターにインストールします (p.26 ～ 31)。

- 本機は、USB 2.0 に準拠しています。
- 本機を USB で接続する場合は、電源を先に入れないでください。プリンタードライバーのインストール中に、電源を入れるメッセージが表示されます。電源は、このときに入れます。（電源スイッチは入った状態でもかまいません）
- コンピューターの USB 2.0 ポートに接続する場合は、USB2.0 用高速ケーブルをお使いになることをお勧めします。

■ファクスドライバー（PC ファクス用）

コンピューターからの印刷データを直接本機でファクス送信（PC ファクス）したいとき、ファクスドライバーをコンピューターにインストールします (p.32 ～ 35)。

5 必要に応じて、ファクス機能やオプション、アプリケーションソフトウェアを設定する

■スキャナー機能

ネットワークスキャナー /E メールキットを取り付けているときに設定します。

① Panasonic Document Management System をコンピューターにインストールします (p.36 ～ 38)。
② コンピューター上でコミュニケーションユーティリティを設定します (p.40 ～ 41)。

■アプリケーションソフトウェア

添付の CD-ROM 内のアプリケーションソフトウェアをインストールされるときは、CD-ROM 内の各ソフトウェアの取扱説明書およびヘルプを参照してください。

■ファクス機能

ファクス機能を設定します。

(DP-C262/DP-C322の場合は、ファクス通信ボード(DA-FG321)を取り付けているときに設定します。)

① 自局情報(発信元情報、文字ID、数字ID)、回線の種別などを設定します(p.42～45)。
② アドレス帳を設定します。
● 『取扱説明書(基本編)』の「アドレス帳の登録(ファクス)」を参照してください。

■Eメール機能

ネットワークスキャナー/Eメールキットを装着しているときに設定します。

① 本機の操作パネルでネットワーク環境を設定します(p.46～50)。
② アドレス帳を登録します。
● 『取扱説明書(スキャナー/Eメール編)』を参照してください。

■インターネットFAX機能

インターネットFAXモジュールを装着している場合に設定します。

① 本機の操作パネルでネットワーク環境を設定します(p.46～50)。
② アドレス帳を登録します。
● 『取扱説明書(基本編)』の「アドレス帳の登録(インターネットFAX)」を参照してください。

お知らせ

- Mac OS環境に本機を接続することはできません。
- NetWare環境に本機を接続する場合は、「IPX-SPX setup utility」のインストールが必要です。付属のCD-ROM「Panasonic Document Management System」を参照してください。

用語

IPX/SPX

(Internetwork Packet Exchange/Sequenced Packet Exchange)

Novell NetWareが使用するネットワークおよびトランスポートレベルのプロトコル。

NetWare

Novell Corporationが開発した、ローカルエリアネットワーク(LAN)OS。

プリントサーバー

ひとつまたは複数のプリンターを管理するコンピューターです。ネットワーク上に接続されているコンピューターより、プリンターに送られてくるプリントジョブを受信順に、コンピューターから指定のプリンターへ排出します。

USB

(Universal Serial Bus)

外付標準バス。1.1と2.0タイプがあり、2.0タイプでは、データ転送速度は最大480Mbpsと高速転送が可能です。

USBはプラグアンドプレイをサポートしています。

プラグアンドプレイ

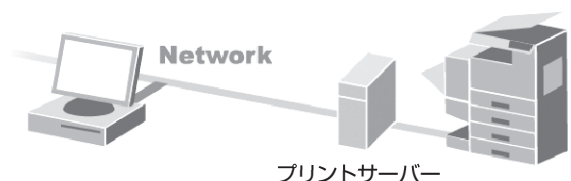
拡張ボードや他の装置をコンピューターが自動的に設定する機能。DIPスイッチ、ジャンパ、その他を設定しなくても装置を接続するだけで使用できます。

本機とコンピューターの接続方法

■ダイレクト接続

プリントサーバー（プリンターを管理するコンピューター）を使用しない接続方法です。印刷ジョブは直接ネットワークプリンターへ送信されます。

■ネットワークプリントサーバー接続

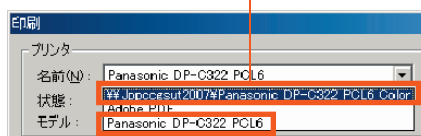
プリントサーバー（プリンターを管理するコンピューター）を経由して印刷する接続方法です。印刷ジョブはプリントサーバー経由で共有設定されたプリンターへ送信されます。

■ローカル（USB）接続

ネットワークを使わず、直接コンピューターとプリンターを接続する方法です。

■同一機種のプリンタードライバーをローカル（USB）用とネットワーク接続用の2種を入れたとき

いずれのプリンターも正常に動作します。アプリケーションソフトの印刷画面のプリンター一覧表示から、印刷するプリンターをワンタッチで切り替えることができます。

ネットワーク接続プリンター

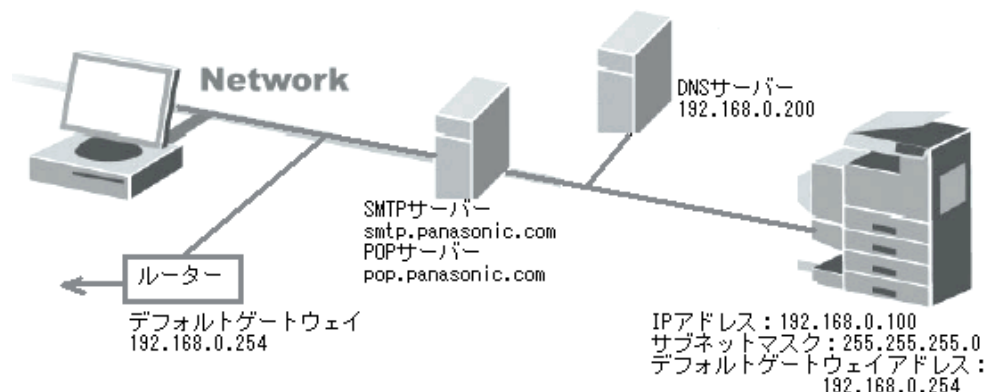
・サーバー名が最初に自動で付加されます。ダイレクト接続時は、サーバー名が付加されませんので、プリンター設定画面でアイコン名称を変更しておくと便利です。

ローカル接続プリンター

ネットワーク環境の例

ネットワーク、Eメール／インターネットFAXの設定はお客様の環境により、設定内容が異なります。ここでは以下のような環境を例として説明します。

お客様の環境に合わせて設定するためにはご購入の販売店またはサービス実施会社のコンサルティング並びにカスタマイズが必要となります。

詳しくは、お客様のシステム管理者を通じて、ご購入の販売店またはサービス実施会社にお問い合わせください。

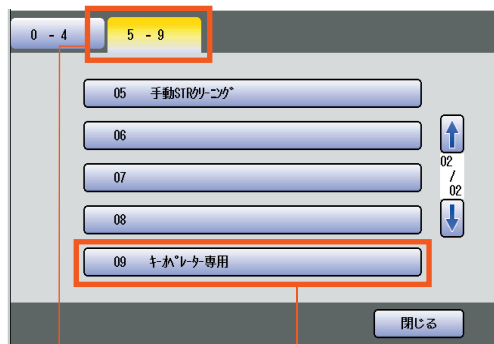
セットアップ編

ネットワークの設定

お使いのネットワークに DHCP サーバーが設定されていない場合は、次の項目を設定してください。
● IP アドレス　●サブネットマスク　●ゲートウェイアドレス

オンラインランプが点灯していることを確認してから本ネットワーク設定を開始してください。

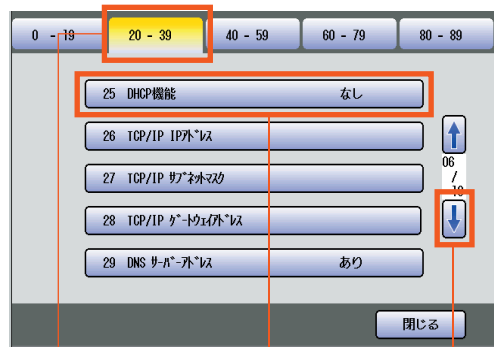
1 <ファンクション>を押す

2 ［共通機能設定］を押す

3 ［5 - 9］を押し、［09 キーオペレーター専用］を押す

4 パスワード (4 桁) を入力し、［OK］を押す

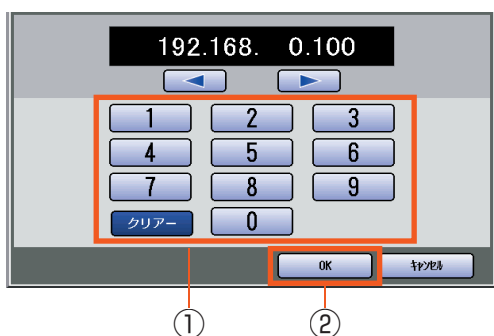
● パスワードの初期値は、「0000」です。変更されているときは、管理者へお問い合わせください。

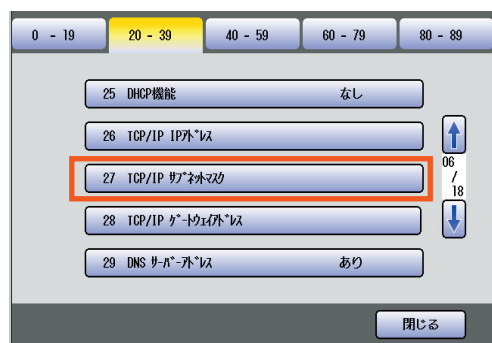
5 ［25 DHCP 機能］の設定を確認する

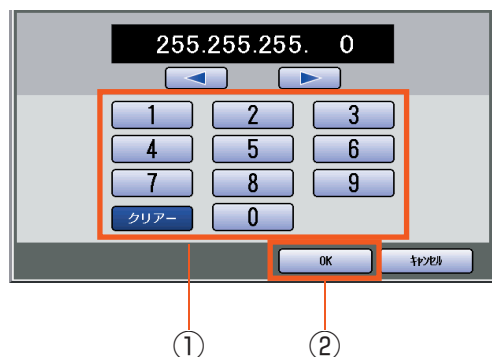
①［20 ～ 39］を押す
② を押す
③［25 DHCP 機能］を押す

④DHCP 機能が［あり］に設定されている場合は、［なし］に変更して［OK］を押す

6 ［26 TCP/IP IP アドレス］を押す

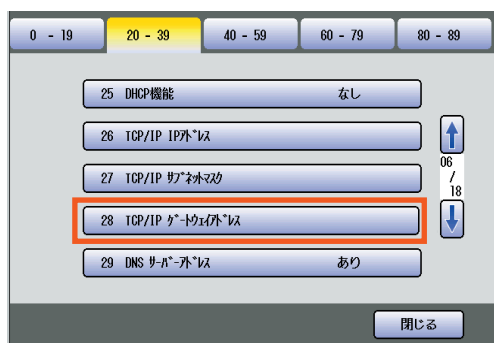
7 IP アドレスを入力し、［OK］を押す

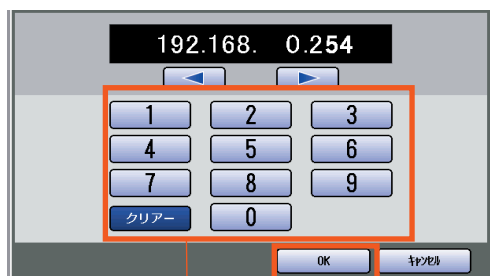
例：192.168.0.100

- 1 桁または 2 桁の数値を入力するときは、次のどちらかの操作をします。
  - ・先頭に 00 または 0 を付けて 3 桁にする
  - ・数字入力後、［▶］または操作パネルの✳キーを押す
- 誤って入力した場合は、次の手順で修正します。
  (1) ［◀］ または ［▶］を押し、修正したい文字の右側にカーソルを移動する
  (2) ［クリアー］ を押して文字を削除し、正しい文字を入力する

8 ［27 TCP/IP サブネットマスク］を押す

9 サブネットマスクを入力し、［OK］を押す

例：255.255.255.0

- 1 桁または 2 桁の数値を入力するときは、次のどちらかの操作をします。
  - ・先頭に 00 または 0 を付けて 3 桁にする
  - ・数字入力後、［▶］または操作パネルの✳キーを押す
- 誤って入力した場合は、次の手順で修正します。
  (1) ［◀］ または ［▶］を押し、修正したい文字の右側にカーソルを移動する
  (2) ［クリアー］ を押して文字を削除し、正しい文字を入力する

次ページへ続く ▶▶▶

10 [28 TCP/IP ゲートウェイアドレス] を押す

11 ゲートウェイアドレスを入力し、[OK] を押す

例：192.168.0.254

- 1 桁または 2 桁の数値を入力するときは、次のどちらかの操作をします。
  - 先頭に 00 または 0 を付けて 3 桁にする
  - 数字入力後、[▶]または操作パネルの✳キーを押す
- 誤って入力した場合は、次の手順で修正します。
  (1) [◀] または [▶]を押し、修正したい文字の右側にカーソルを移動する
  (2) [クリアー] を押して文字を削除し、正しい文字を入力する

12 <リセット>を押す

13 スタンバイスイッチを切り、もう一度入れる

- 必ず行ってください。
- スタンバイスイッチは本機の左側にあります。

設定された内容を下記にメモしておくと便利です。

<ネットワーク情報>

TCP/IP IP アドレス：

TCP/IP サブネットマスク：

TCP/IP ゲートウェイアドレス：

プリンタードライバーのインストール

■ システム環境

●ハードウェア環境	PC/AT 互換機 CPU Pentium II 以上、Pentium 4 以上を推奨
● OS 環境	Windows 98[*1], Windows Me[*2], Windows NT 4.0[*3] (Service Pack 3 以降が必要), Windows 2000[*4], Windows XP[*5], Windows Server 2003[*6]
●メモリー	推奨メモリー容量は次のとおりです。 Windows 98, Windows Me :128 MB 以上 Windows 2000, Windows XP,Windows NT 4.0, Windows Server 2003 : 256 MB 以上
●空きディスク容量	40 MB 以上
● CD-ROM ドライブ	プリンタードライバーなどのソフトウェアのインストールに CD-ROM ドライブを使います。
●インターフェース	10Base-T/100Base-TX イーサネットポート USB ポート

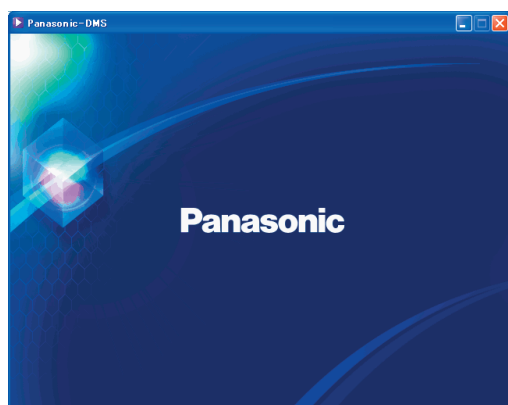
*1 Microsoft® Windows® 98 日本語版
*2 Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版
*3 Microsoft® Windows NT® 4.0 日本語版
*4 Microsoft® Windows® 2000 日本語版
*5 Microsoft® Windows® XP 日本語版
*6 Microsoft® Windows Server™ 2003 日本語版

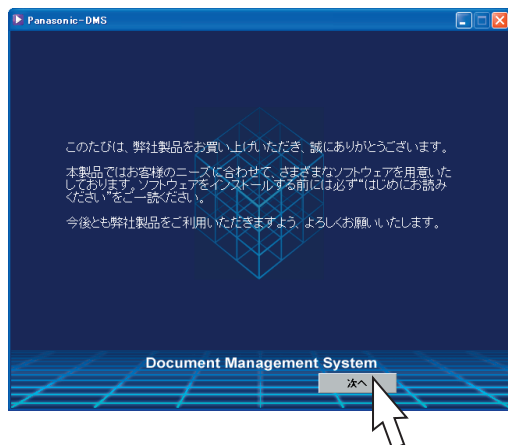
ダイレクト接続の場合

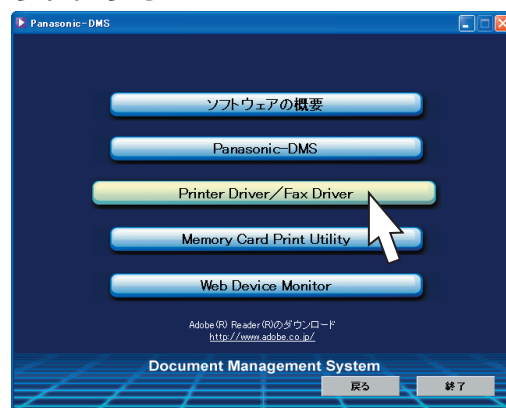
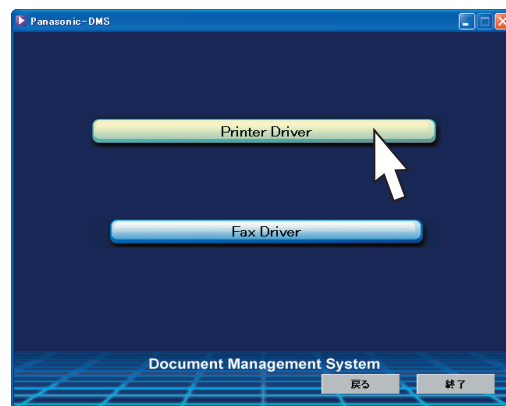
■コンピューターへのプリンタードライバーのインストール

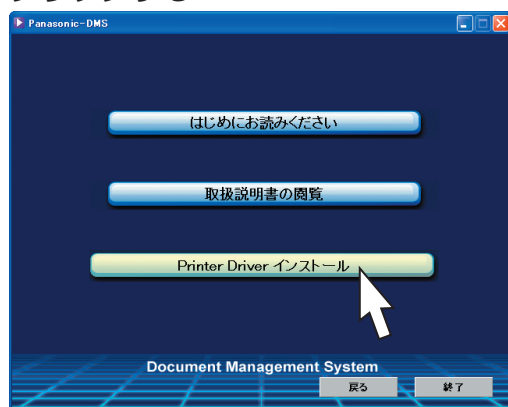
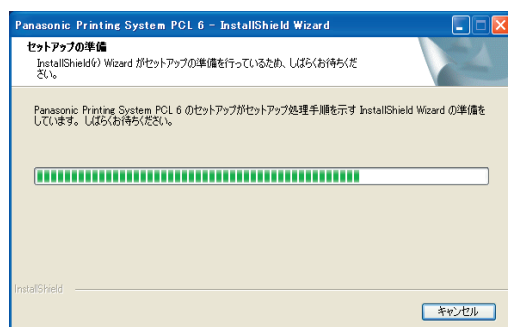
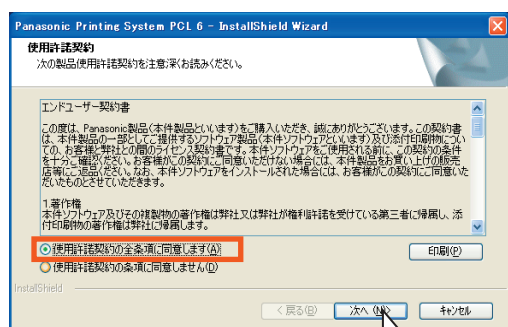
プリンタードライバーをインストールする前に、本機がネットワーク接続されていることを確認してください。接続されていないときは、ネットワーク管理者へご相談ください。

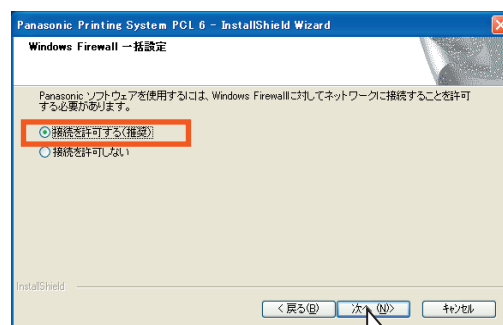
- Windows XP の場合は、コンピューターの管理者のユーザーアカウントでログインしてください。Windows Server 2003/2000/NT の場合は、Administrator 権限でログインしてください。
- プリンタードライバーを削除（アンインストール）する場合は、付属の CD-ROM「Panasonic Document Management System」内の『ソフトウェア取扱説明書（PCL Printer Driver 編）』を参照してください。

1 付属の CD-ROM「Panasonic Document Management System」を、お使いのコンピューターにセットする

オープニング画面が表示されます。

- オープニング画面が表示されない場合は、マイコンピューターを開き、CD-ROM ドライブ内の「Launch.exe」をダブルクリックしてください。

2 ［次へ］をクリックする

3 ［Printer Driver ／ Fax Driver］をクリックする

4 ［Printer Driver］をクリックする

次ページへ続く ▶▶▶

5 [Printer Driver インストール] をクリックする

セットアップの準備画面が表示されます。

6 [使用許諾契約の全条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックする

Windows XP Service Pack 2 がインストールされている場合は、下記の画面が表示されます。

7 [接続を許可する (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックする

- [接続を許可する (推奨)] を選択せずにインストールを終了すると、ソフトウェアが正常に動作しません。

  このような場合は、「■こんなときには」(p.53) を参照して、Windows ファイアウォールの設定を変更してください。

8 [ネットワークプリンターとして使います] を選択し、[次へ] をクリックする

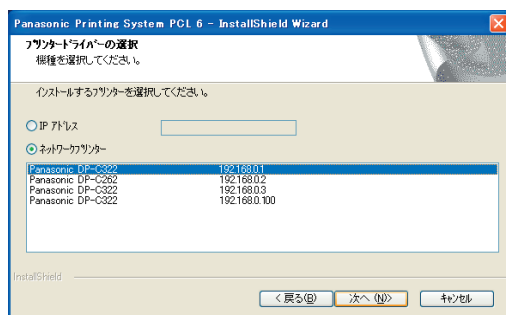
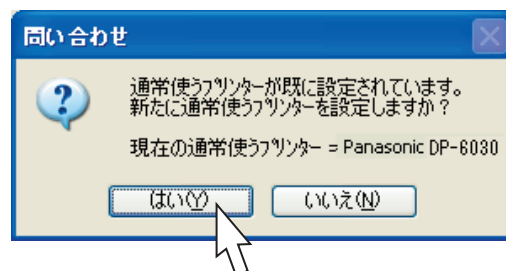
- USB 接続する場合は、「ローカル (USB) 接続の場合」を参照してください (p.26 ～31)。
- [次へ] を押す前に、本機がネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。

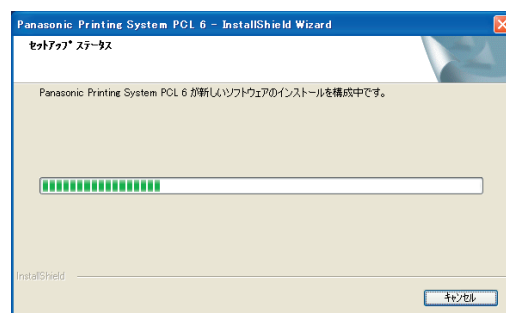
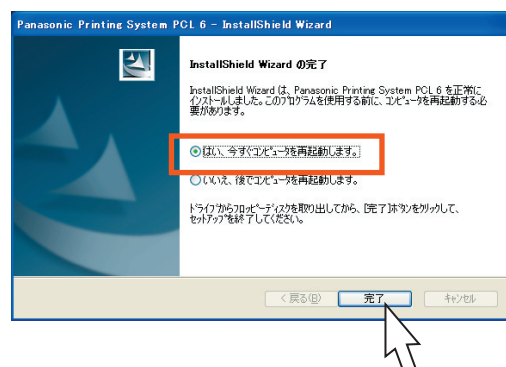
ネットワークに接続しているプリンターが自動的に検索され、画面に表示されます。

- 同一サブネットに接続されているプリンターだけが検索されます。

  ネットワークプリンターとして使用できるのは、表示されたプリンターだけです。サブネットについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- サブネットが違う、またはプリンターがネットワークに接続されていない、本機の電源が入っていないときなど、接続したいプリンターが表示されない場合は、IP アドレスを入力して［次へ］をクリックし、手順 10 に進みます。

9 プリンターを選択し、［次へ］をクリックする

例 : DP-C322

10 Panasonic DP-C322/C322F/C262/C262F を、通常使うプリンターとして設定する場合は、［はい］をクリックする

- ご使用のコンピューターにプリンターが何も設定されていないときは、上記の画面は表示されません。

セットアップステータス画面が表示されます。

11 ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックする

ネットワークプリントサーバー接続の場合

■ ネットワークプリントサーバーの設定手順

1. ネットワークプリントサーバーにプリンタードライバーをインストールします。

(p.14 ～ 17 参照)

2. ネットワークプリントサーバーの共有設定をします。

(p.18 ～ 23 参照)

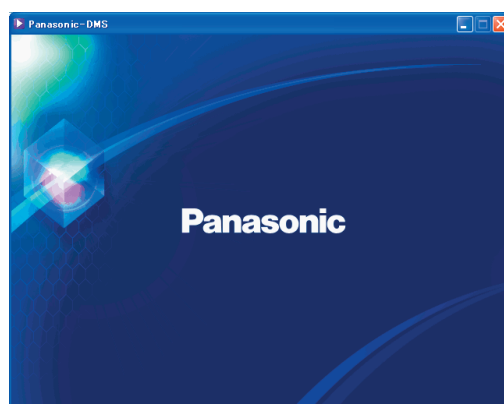
3. クライアントコンピューターを設定します。

(p.24 参照)

■ ネットワークプリントサーバーへのプリンタードライバーのインストール

- Windows XP の場合は、コンピューターの管理者のユーザーアカウントでログインしてください。

  Windows Server 2003/2000/NT の場合は、Administrator 権限でログインしてください。
- プリンタードライバーを削除（アンインストール）する場合は、付属の CD-ROM「Panasonic Document Management System」内の『ソフトウェア取扱説明書（PCL Printer Driver 編）』を参照してください。

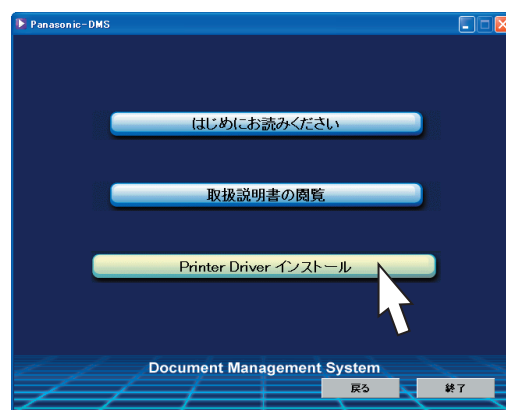
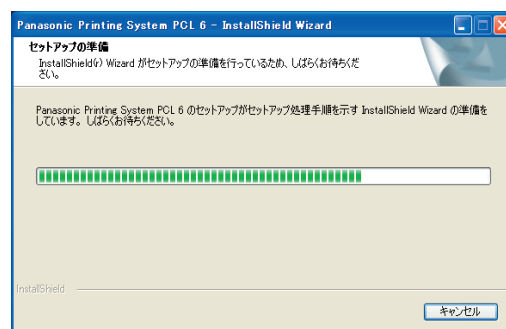
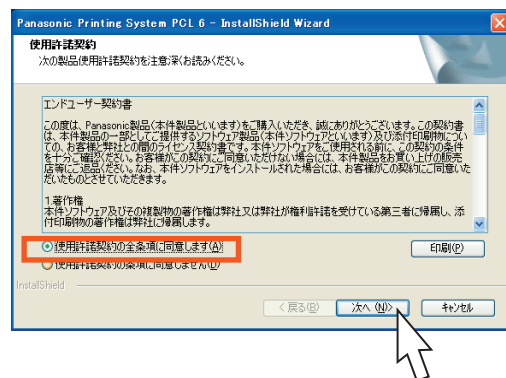
1 付属の CD-ROM「Panasonic Document Management System」を、お使いのコンピューターにセットする

オープニング画面が表示されます。

- オープニング画面が表示されない場合は、マイコンピューターを開き、CD-ROM ドライブ内の「Launch.exe」をダブルクリックしてください。

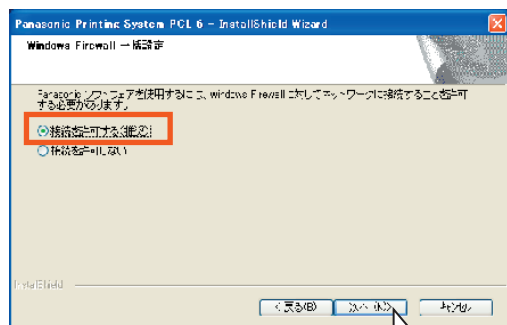
2 ［次へ］をクリックする

3 ［Printer Driver ／ Fax Driver］をクリックする

4 ［Printer Driver］をクリックする

5 ［Printer Driver インストール］をクリックする

セットアップの準備画面が表示されます。

6 ［使用許諾契約の全条項に同意します］を選択し、［次へ］をクリックする

次ページへ続く ▶▶▶

7

Windows XP Service Pack 2 がインストールされている場合は、下記の画面が表示されます。

[接続を許可する（推奨)] を選択し、[次へ] をクリックする

● [接続を許可する（推奨)] を選択せずにインストールを終了すると、ソフトウェアが正常に動作しません。

このような場合は、「■こんなときには」(p.53) を参照して、Windows ファイアウォールの設定を変更してください。

8

[ネットワークプリンターとして使います] を選択し、[次へ] をクリックする

● USB 接続する場合は、「ローカル (USB) 接続の場合」を参照してください (p.26 ～ 31)。

● [次へ] を押す前に、本機がネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。

ネットワークに接続しているプリンターが自動的に検索され、画面に表示されます。

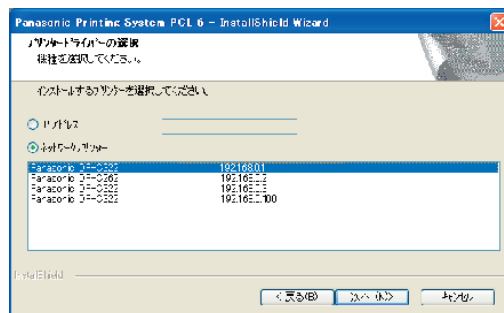
● 同一サブネットに接続されているプリンターだけが検索されます。

ネットワークプリンターとして使用できるのは、表示されたプリンターだけです。サブネットについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

● サブネットが違う、またはプリンターがネットワークに接続されていない、本機の電源が入っていないときなど、接続したいプリンターが表示されない場合は、IP アドレスを入力して [次へ] をクリックし、手順 10 に進みます。

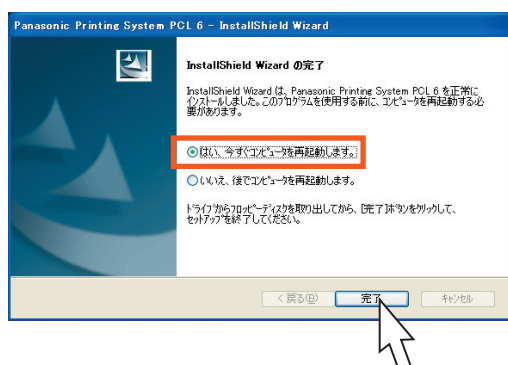
9

プリンターを選択し、[次へ] をクリックする

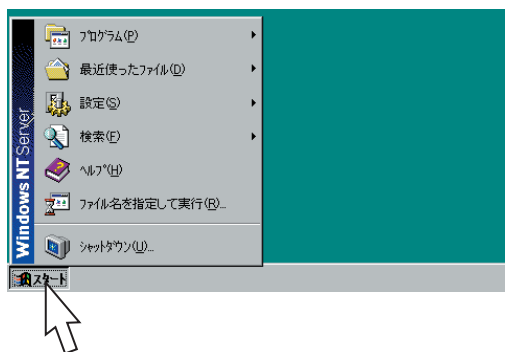
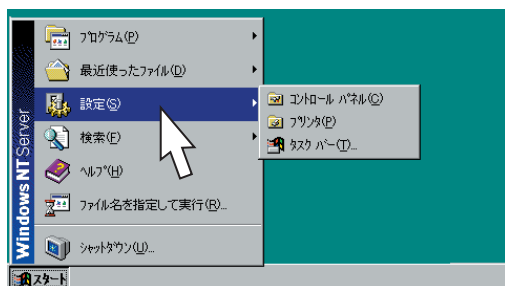
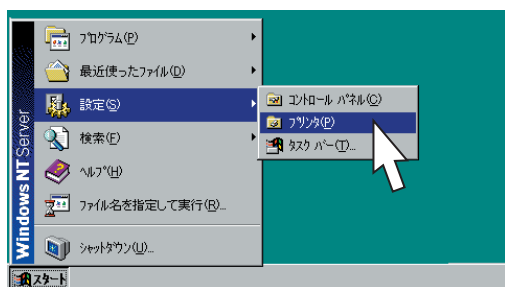
例 : DP-C322

10 Panasonic DP-C322/C322F/C262/C262F を、通常使うプリンターとして設定する場合は、[はい] をクリックする

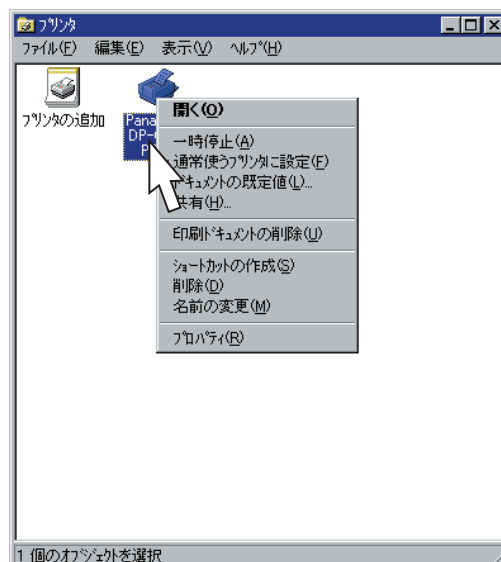
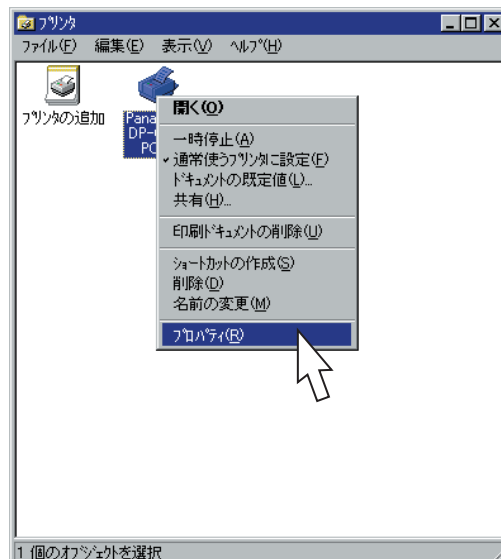
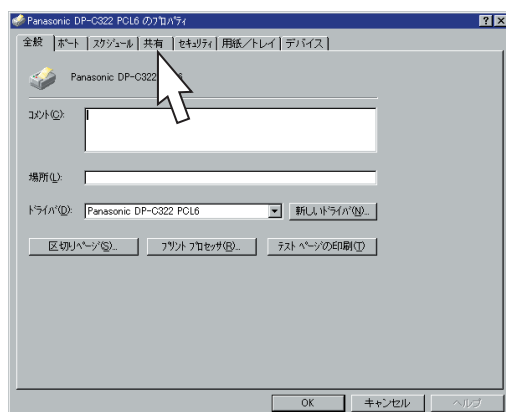
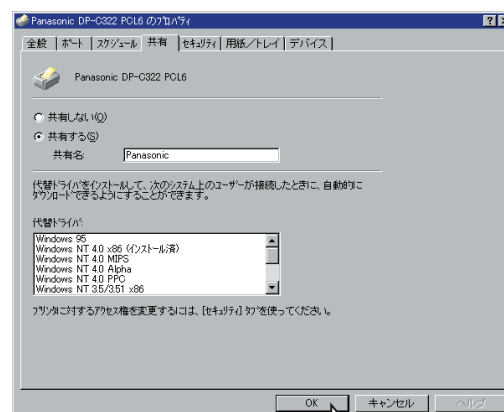
- ネットワークのプリントサーバーにプリンターが何も設定されていないときは、上記の表示がでません。

セットアップステータス画面が表示されます。

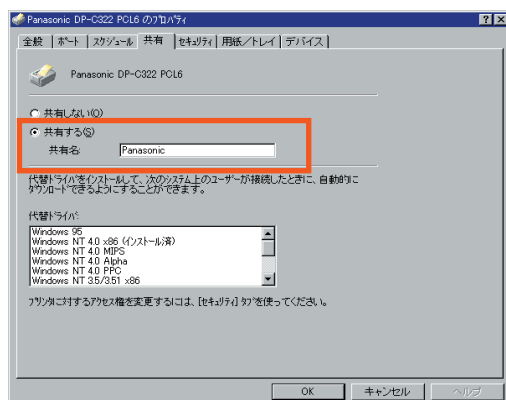
11 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックする

セットアップ編

■ 共有設定のセットアップ（Windows NT Server）

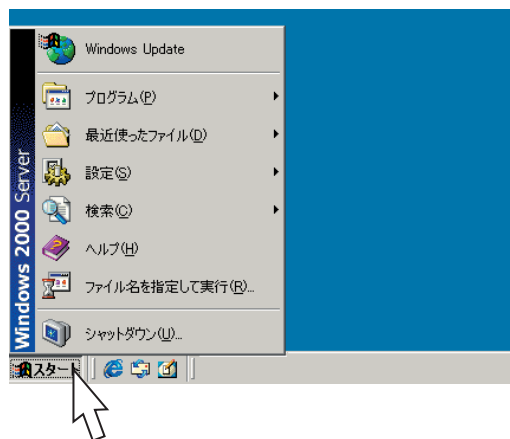
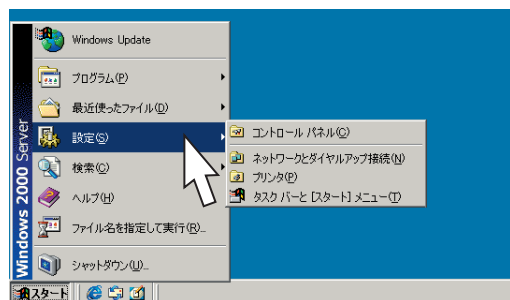
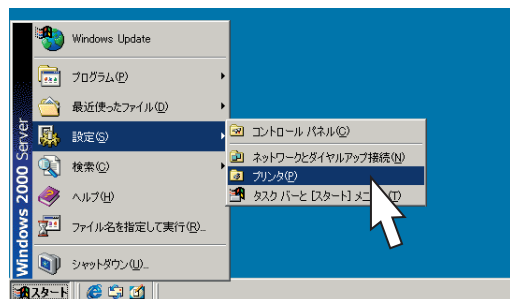
1 ［スタート］をクリックする

2 ポインターを［設定］に合わせる

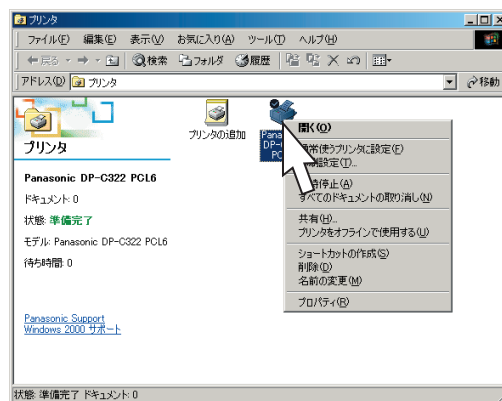
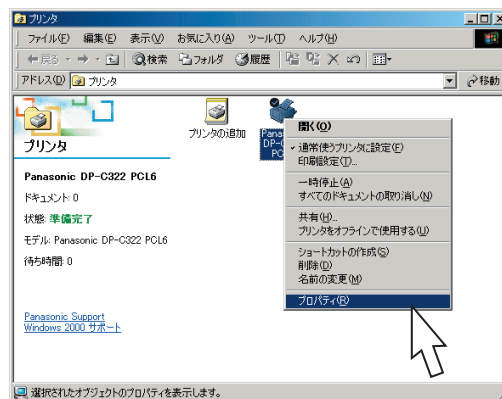
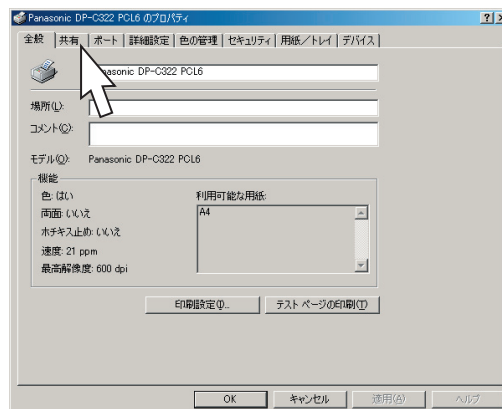
3 ［プリンタ］をクリックする

4 共有するプリンターを右クリックする

5 ［プロパティ］をクリックする

6 ［共有］タブをクリックする

7 ［共有する］を選択し、[共有名] に共有名を入力する

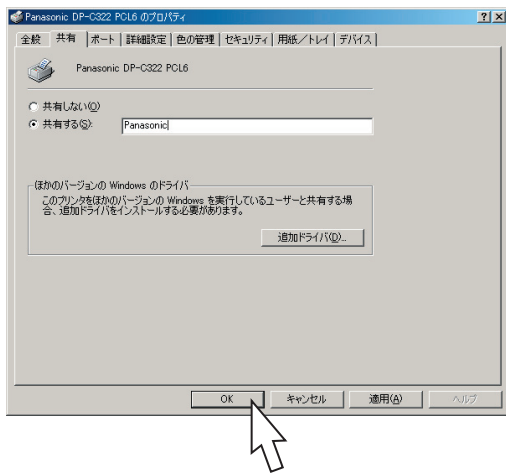
例 : [共有名]　Panasonic

8 ［OK］をクリックする

■ 共有設定のセットアップ（Windows 2000 Server）

1 ［スタート］をクリックする

2 ポインターを［設定］に合わせる

3 ［プリンタ］をクリックする

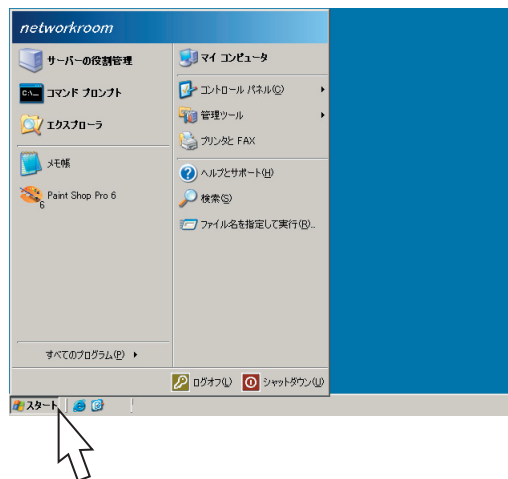
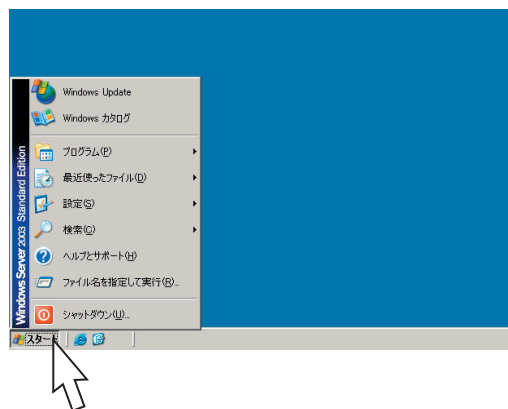
4 共有するプリンターを右クリックする

5 ［プロパティ］をクリックする

6 ［共有］タブをクリックする

7 ［共有する］を選択し、共有名を入力する

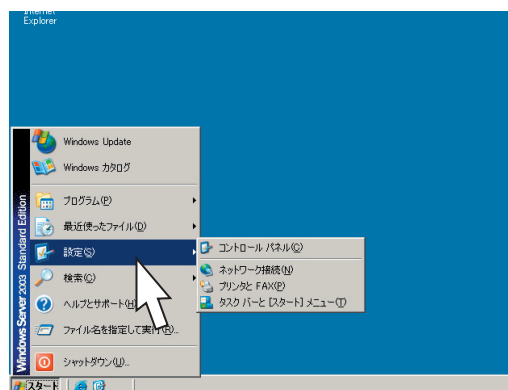
例：［共有名］ Panasonic

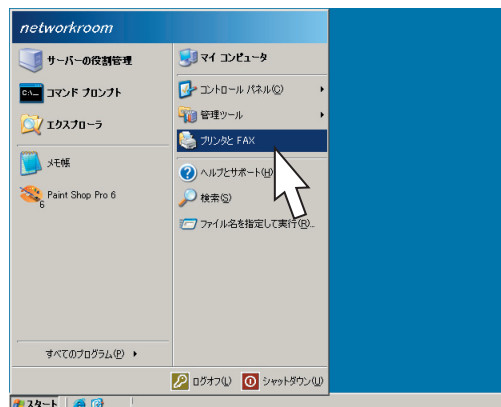
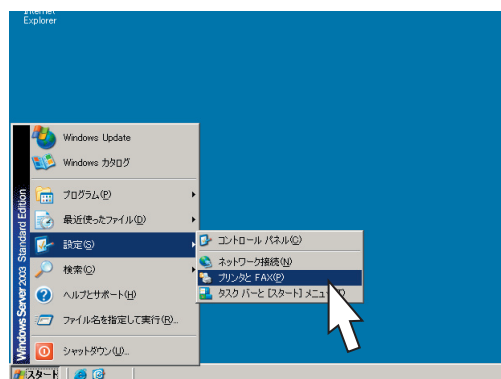
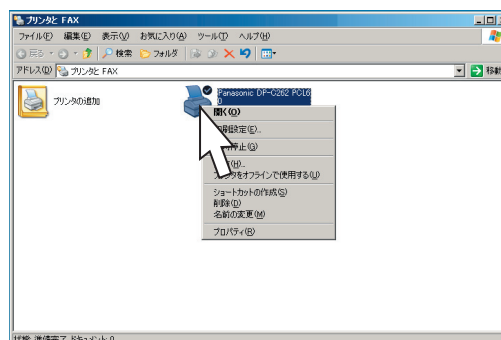
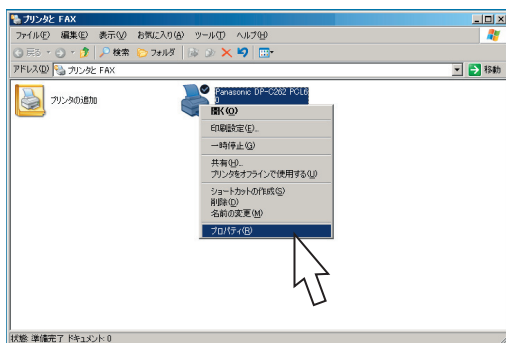
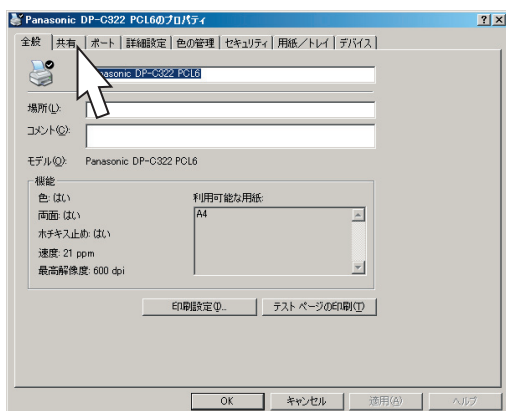
8 ［OK］をクリックする

セットアップ編

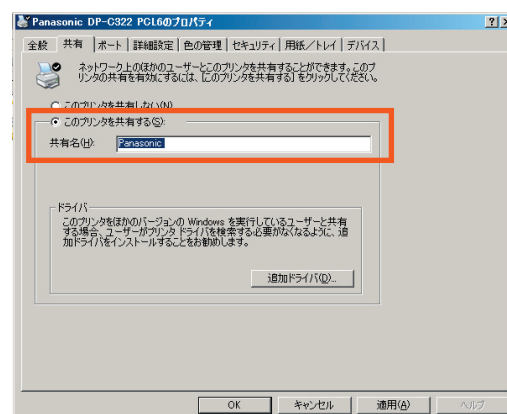
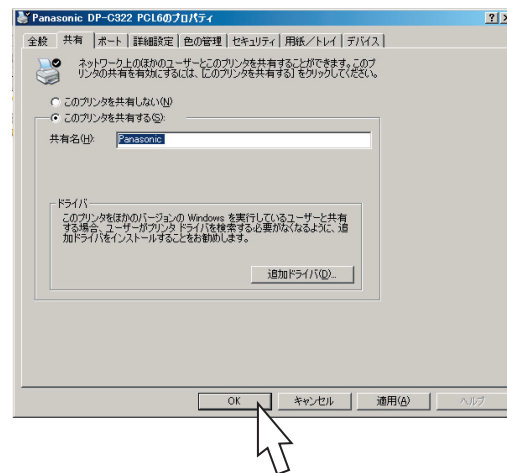
■ 共有設定のセットアップ (Windows Server 2003)

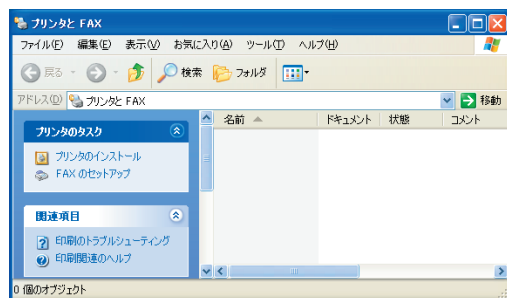
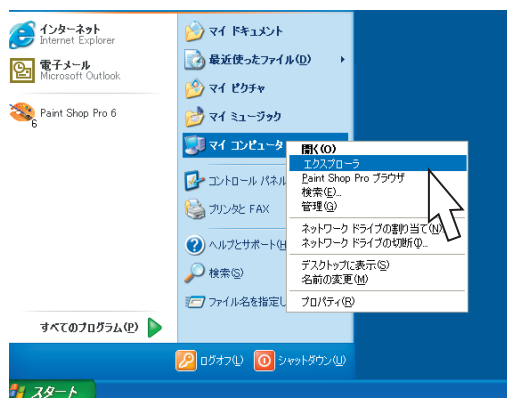
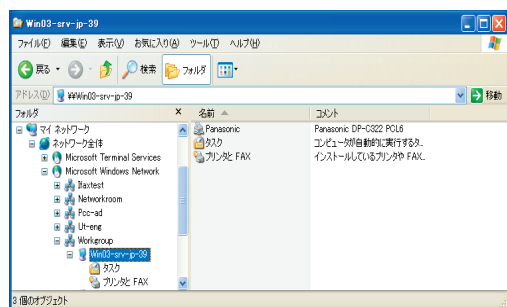
1 [スタート] をクリックする

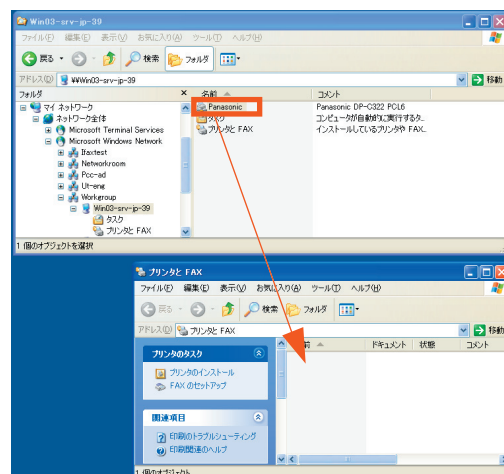
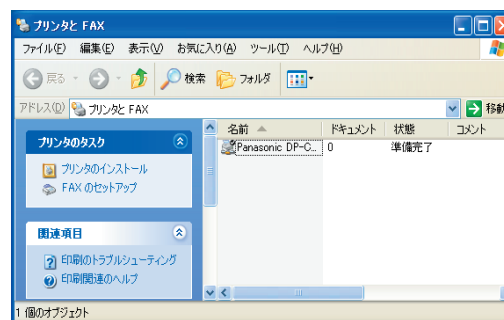
カテゴリの表示モードの場合：

クラシック表示モードの場合：

2 クラシック表示モードの場合は、ポインターを [設定] に合わせる

3 [プリンタと FAX] をクリックする

カテゴリの表示モードの場合：

クラシック表示モードの場合：

4 共有するプリンターを右クリックする

5 ［プロパティ］をクリックする

6 ［共有］タブをクリックする

7 ［このプリンタを共有する］を選択し、[共有名] に共有名を入力する

例 : [共有名]　Panasonic

8 ［OK］をクリックする

■ クライアントコンピューターの設定

1 [スタート] をクリックし、[プリンタと FAX] を選択して下記画面を開く

2 [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム]、[マイコンピュータ]、[エクスプローラ] の順に選択する

3 ネットワーク上のプリントサーバーで共有設定されたプリンターを選択する

● プリントサーバーおよび共有設定されたプリンター名については、ネットワーク管理者へ確認してください。

4 プリンターのアイコンをプリンタと FAX 画面にドラッグアンドドロップする

5 プリンターのアイコンがプリンタと FAX 画面にコピーされていることを確認する

● ここでは、Windows XP の画面で説明しています。OS により画面は異なりますが、手順は基本的に同じです。

ローカル (USB) 接続の場合

■ コンピューターへのプリンタードライバーのインストール

お願い

- プリンタードライバーをインストールする前は、本機の電源を入れないでください。
  プリンタードライバーのインストール中に、電源を入れるメッセージが表示されます。スタンバイスイッチは、このときに入れます。(電源スイッチは入った状態でもかまいません。)

- Windows XP の場合は、コンピューターの管理者のユーザーアカウントでログインしてください。
  Windows Server 2003/2000/NT の場合は、Administrator 権限でログインしてください。
- プリンタードライバーを削除（アンインストール）する場合は、付属の CD-ROM「Panasonic Document Management System」内の『ソフトウェア取扱説明書（PCL Printer Driver 編）』を参照してください。

1 付属の CD-ROM「Panasonic Document Management System」を、お使いのコンピューターにセットする

オープニング画面が表示されます。

- オープニング画面が表示されない場合は、マイコンピューターを開き、CD-ROM ドライブ内の「Launch.exe」をダブルクリックしてください。

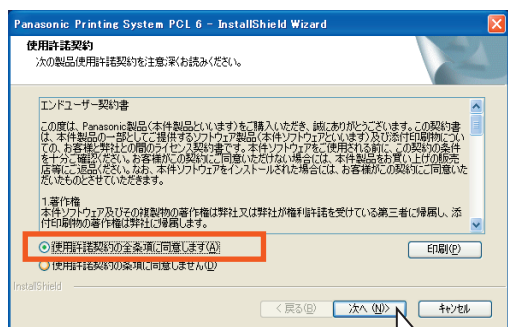
2 [次へ] をクリックする

3 [Printer Driver ／ Fax Driver] をクリックする

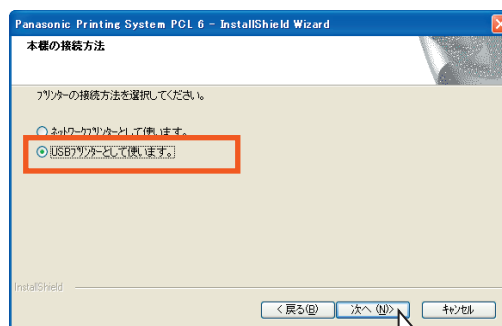
4 [Printer Driver] をクリックする

5 ［Printer Driver インストール］をクリックする

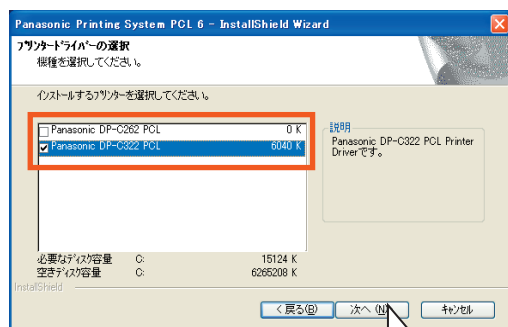
セットアップの準備画面が表示されます。

6 ［使用許諾契約の全条項に同意します］を選択し、［次へ］をクリックする

7 Windows XP Service Pack 2 がインストールされている場合は、下記の画面が表示されます。

［接続を許可する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックする

8 ［USB プリンターとして使います］を選択し、［次へ］をクリックする

次ページへ続く ▶▶▶

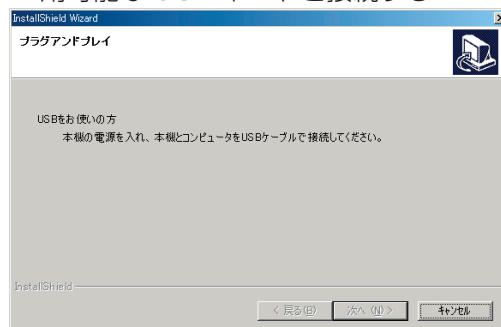
9 インストールするプリンタードライバーを選択し、［次へ］をクリックする

例：DP-C322

Windows 98/Windows Me の場合
☞ 手順 10A と手順 11 ～ 14 に進みます。

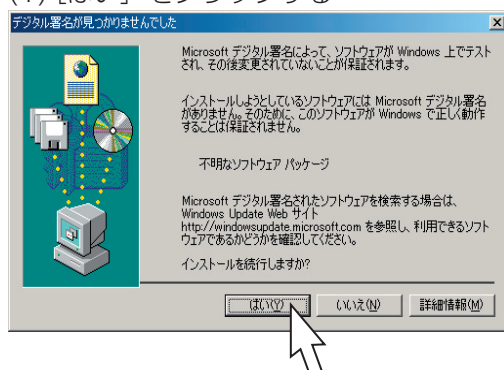
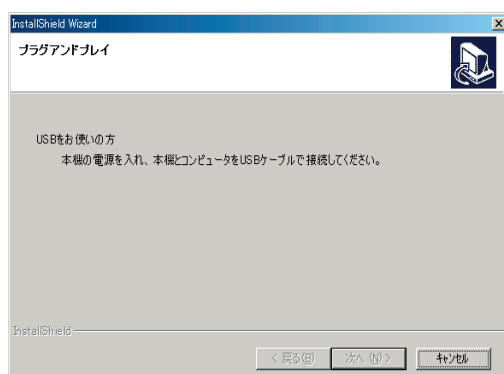
Windows 2000 の場合
☞ 手順 10B と手順 11 ～ 14 に進みます。

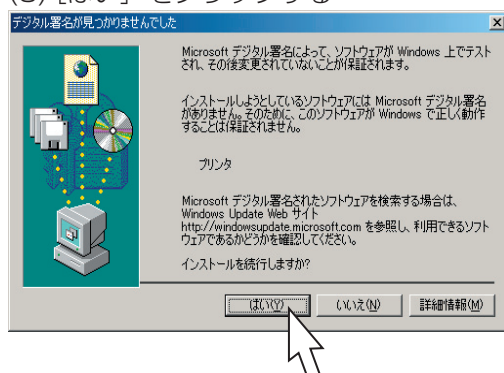
Windows XP/Windows Server 2003 の場合
☞ 手順 10C と手順 11 ～ 14 に進みます。

10A Windows 98/Windows Me の場合

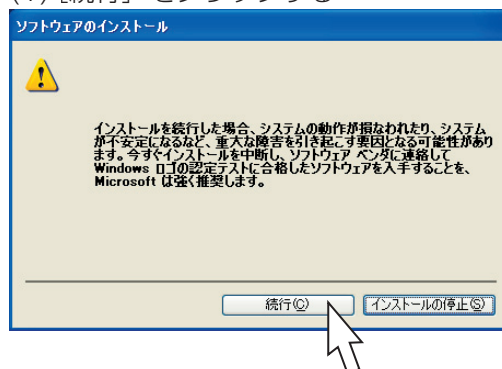
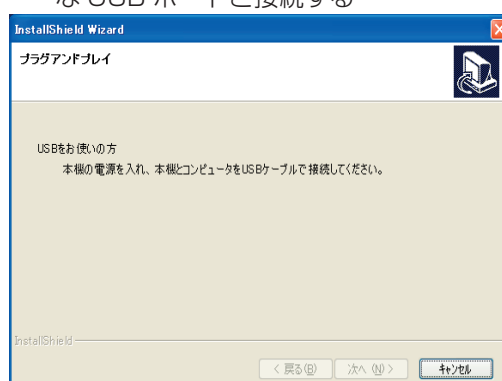
次のメッセージが表示されたら、本機の電源を入れ、コンピューターから使用可能な USB ポートと接続する

● 上の画面が表示されないときは、コンピューターの電源を入れ直してください。

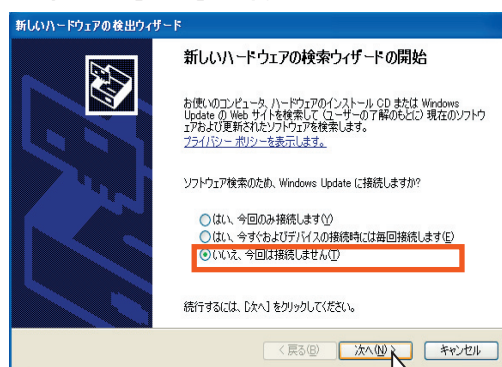
10B Windows 2000 の場合

(1)［はい］をクリックする

(2) 次のメッセージが表示されたら、本機の電源を入れ、コンピューターから使用可能な USB ポートと接続する

● 上の画面が表示されないときは、コンピューターの電源を入れ直してください。

(3)［はい］をクリックする

● すでに弊社の他の PCL プリンタードライバーがインストールされているときは、上の画面は表示されません。

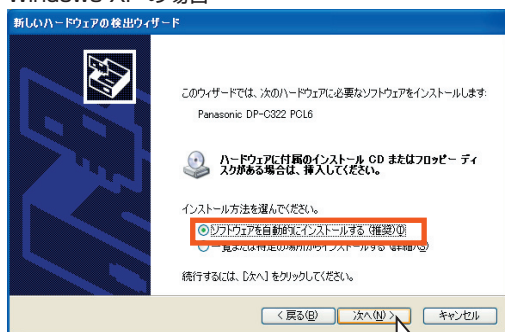
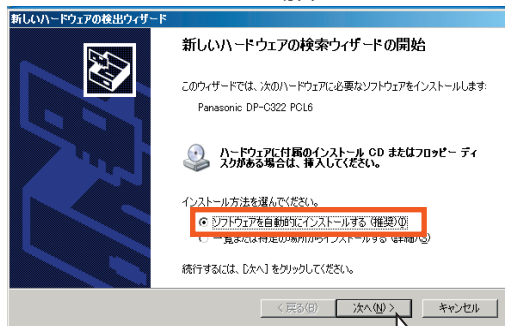
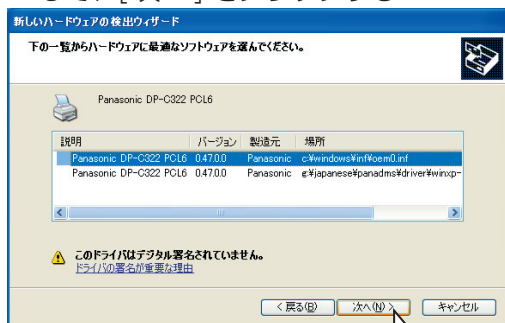
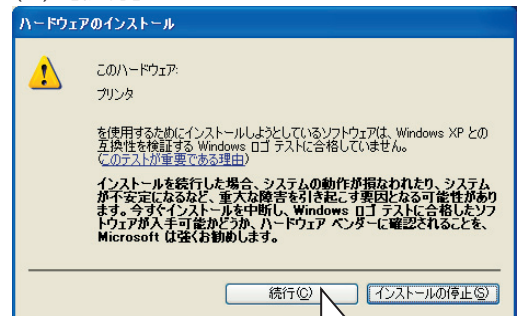
10C Windows XP/Windows Server 2003 の場合

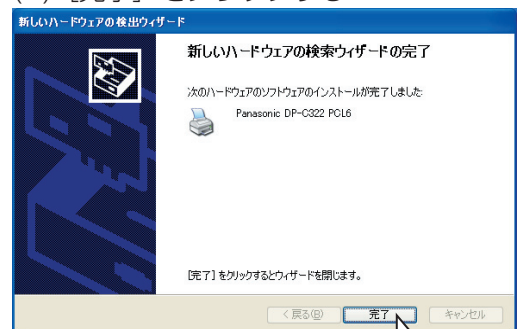
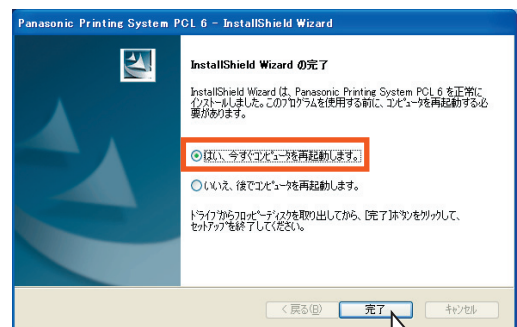
(1)［続行］をクリックする

(2) 次のメッセージが表示されたら本機の電源を入れ、コンピューターから使用可能な USB ポートと接続する

● 上の画面が表示されないときは、コンピューターの電源を入れ直してください。

(3)［いいえ、今回は接続しません］を選択し、［次へ］を押す

次ページへ続く ▶▶▶

● Windows XP Service Pack 2 がインストールされている場合は、下記の画面が表示されます。

(4) [ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックする

Windows XP の場合

Windows Server 2003 の場合

(5) 旧バージョンのプリンタードライバーがインストールされている場合は、次の画面が表示されます。
最新バージョンの .inf ファイルを選択して、[次へ] をクリックする

(6) [続行] をクリックする

ドライバーインストール中の画面が表示されます。

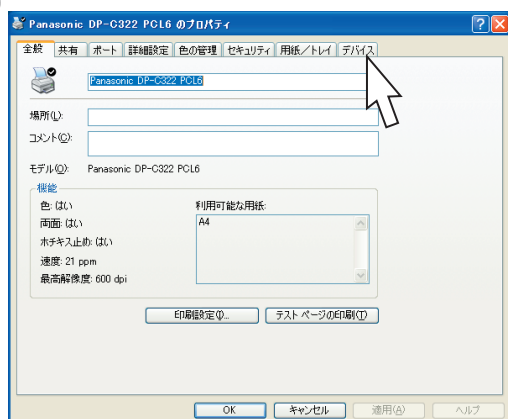
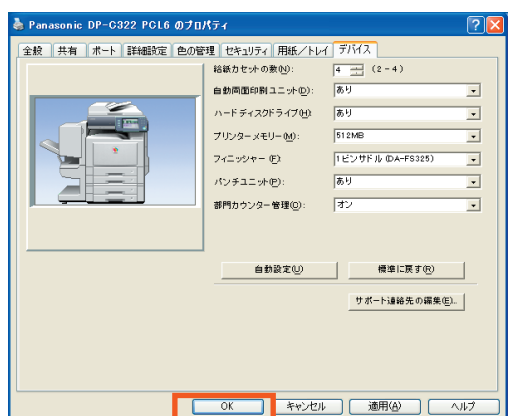
(7) [完了] をクリックする

11 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] をクリックし、[完了] をクリックする

12 ご使用のプリンターのプロパティ画面を開く

- プリンターのプロパティ画面の開きかたは、次のような操作で開きます。

  ご使用のOS（Windowsの種類）により、操作が異なります。詳しくは、ご使用のWindows の説明書を参照ください。

  例：Windows XP

  ［スタート］→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］→［Panasonic DP-C262 PCL6］→［プロパティ］

13 ［デバイス］をクリックする

14 デバイス情報を設定し、［OK］をクリックする

デバイス設定内容	設定値
給紙カセットの数 ・カセットが何らかの原因で使用できなくなったときに変更します。	2～4
自動両面印刷ユニット ・自動両面ユニットが何らかの原因で使用できなくなったときに変更します。	なし、あり
ハードディスクドライブ ・オプションのハードディスク装着時に設定します。	なし、あり
プリンターメモリー ・初期値は 256MB です。オプションのメモリーを増設時に設定します。	256MB、512MB
フィニッシャー ・オプションのフィニッシャーを装着時に設定します。	なし、アウタートレイ(DA-XT320)、1ビン(DA-FS320)、1ビンサドル(DA-FS325)
パンチユニット ・オプションの1ビンサドルフィニッシャーにパンチユニット装着したときだけ設定します。	なし、あり
部門カウンター管理 ・部門カウンター機能を使用されるときに設定します。 ご使用前に本機のサービス設定が必要です。	オフ、オン

ファクスドライバー（PC ファクス用）のインストール

ファクスドライバーをインストールすると、作成したアプリケーションソフトウェアの文書を、コンピューターから直接ファクス送信（PC ファクス）できます。

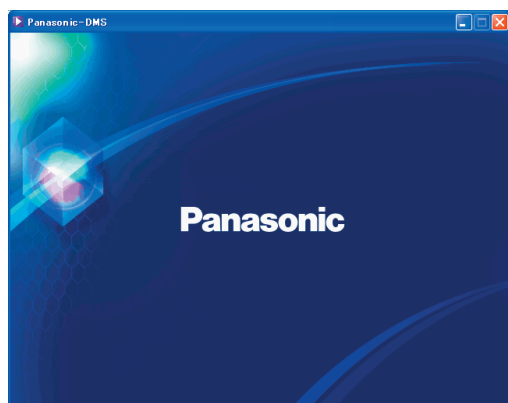
■ システム環境

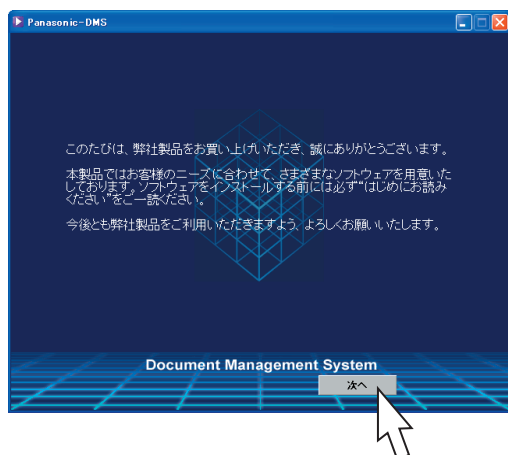
●ハードウェア環境	PC/AT 互換機 CPU Pentium II 以上、Pentium 4 以上を推奨
● OS 環境	Windows 98*1, Windows Me*2, Windows NT 4.0*3 (Service Pack 3 以降が必要), Windows 2000*4, Windows XP*5, Windows Server 2003*6
●メモリー	推奨メモリー容量は次のとおりです。 Windows 98, Windows Me :128 MB 以上 Windows 2000, Windows XP,Windows NT 4.0, Windows Server 2003 : 256 MB 以上
●空きディスク容量	200 MB 以上
● CD-ROM ドライブ	ファクスドライバーなどのソフトウェアのインストールにCD-ROM ドライブを使います。
●インターフェース	10Base-T/100Base-TX イーサネットポート

*1 Microsoft ® Windows ® 98 日本語版
*2 Microsoft ® Windows ® Millennium Edition 日本語版
*3 Microsoft ® Windows NT ® 4.0 日本語版
*4 Microsoft ® Windows ® 2000 日本語版
*5 Microsoft ® Windows ® XP 日本語版
*6 Microsoft ® Windows Server ™ 2003 日本語版

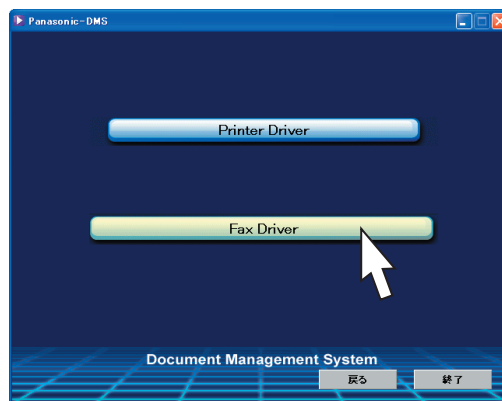
■ コンピューターへのファクスドライバーのインストール

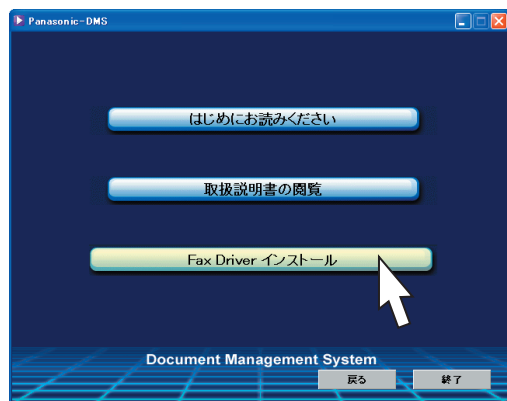
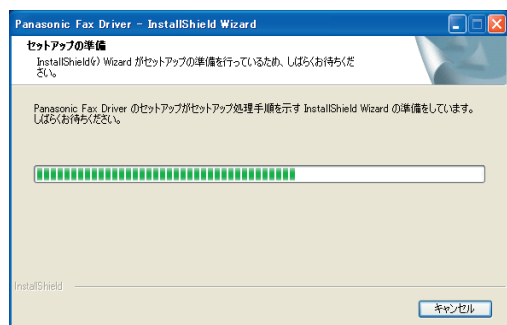
- Windows XP の場合は、コンピューターの管理者のユーザーアカウントでログインしてください。Windows Server 2003/2000/NT の場合は、Administrator 権限でログインしてください。
- ファクスドライバーを削除（アンインストール）する場合は、付属の CD-ROM「Panasonic Document Management System」内の『ソフトウェア取扱説明書（ファクスドライバー編）』を参照してください。

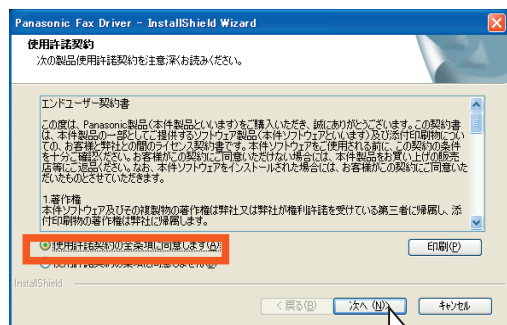
1 付属の CD-ROM「Panasonic Document Management System」を、お使いのコンピューターにセットする

オープニング画面が表示されます。

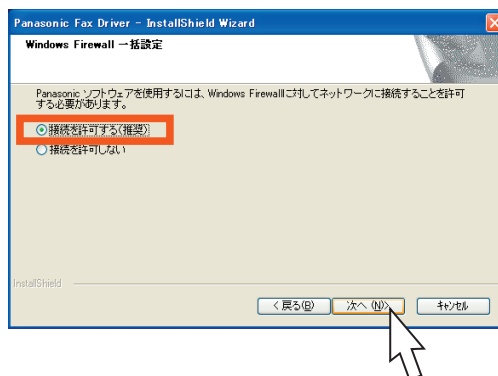
- オープニング画面が表示されない場合は、マイコンピューターを開き、CD-ROM ドライブ内の「Launch.exe」をダブルクリックしてください。

2 ［次へ］をクリックする

3 ［Printer Driver ／ Fax Driver］をクリックする

4 ［Fax Driver］をクリックする

次ページへ続く ▶▶▶

5 [Fax Driverインストール] をクリックする

セットアップの準備画面が表示されます。

6 [使用許諾契約の全条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックする

7 WindowsXP ServicePack2 がインストールされている場合は、下記の画面が表示されます。

[接続を許可する(推奨)] を選択し、[次へ] をクリックする

- [次へ] を押す前に、本機がネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
- [接続を許可する(推奨)] を選択せずにインストールを終了すると、ソフトウェアが正常に動作しません。

  このような場合は、「■こんなときには」(p.53) を参照して、Windows ファイアウォールの設定を変更してください。

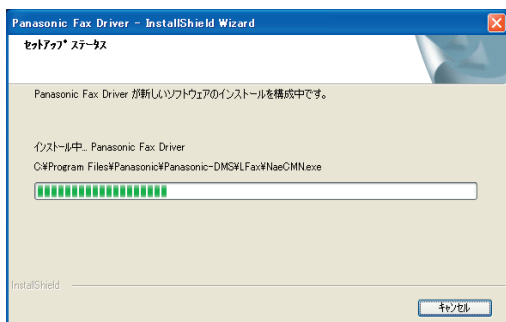
ネットワークに接続している複合機が自動的に検索され、画面に表示されます。

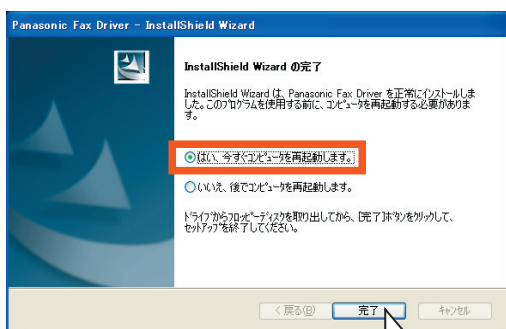
- 同一サブネットに接続されている複合機だけが検索されます。

  複合機として使用できるのは、表示されたプリンターだけです。
- 接続したい複合機が表示されない場合は、IP アドレスを入力して [次へ] をクリックし、手順 9 に進みます。

8 複合機を選択し、［次へ］をクリックする

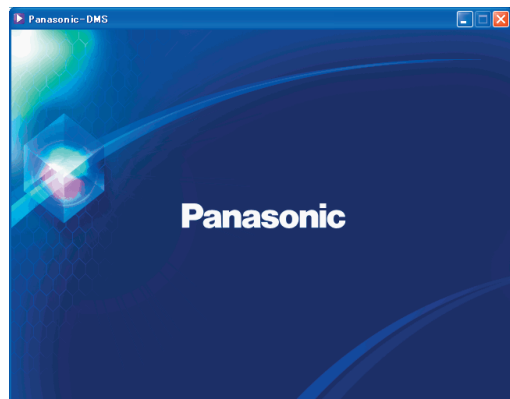
例：DP-C322

インストールが開始されます。

9 ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］をクリックする

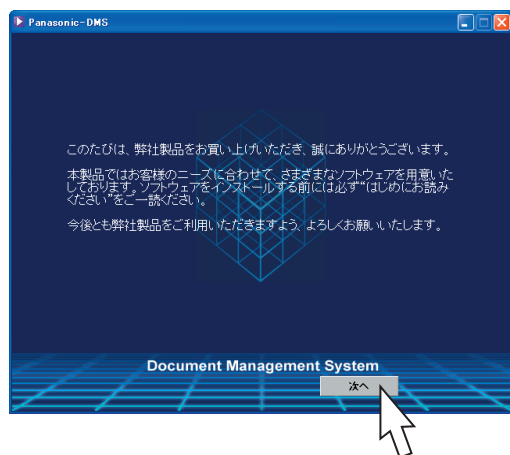
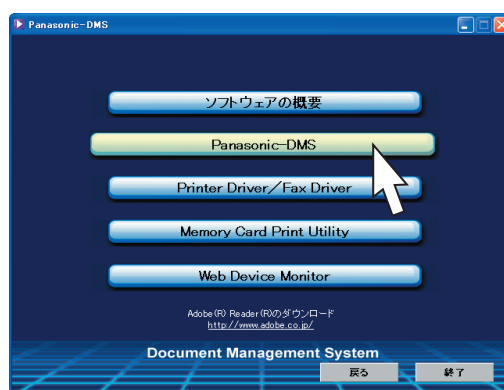
セットアップ編

Panasonic Document Management System のインストール

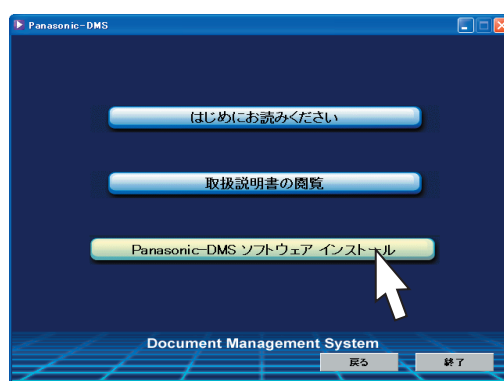
■ Panasonic Document Management System のインストール

- Windows XP の場合は、コンピューターの管理者のユーザーアカウントでログインしてください。Windows Server 2003/2000/NT の場合は、Administrator 権限でログインしてください。
- Panasonic Document Management System ソフトウェアを一括して削除（アンインストール）する場合は、「■ Panasonic Document Management System の一括アンインストール」（p.39）を参照してください。
- ソフトウェアを個別に削除（アンインストール）する場合は、付属の CD-ROM「Panasonic Document Management System」内の各ソフトウェアの説明書を参照してください。

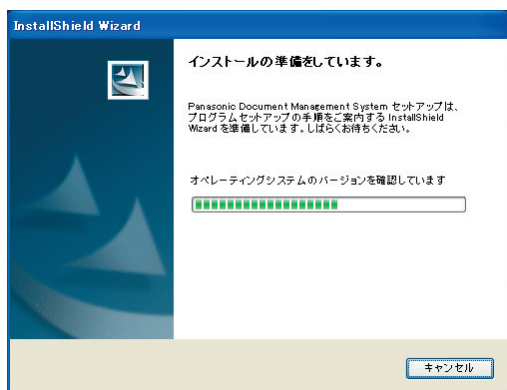
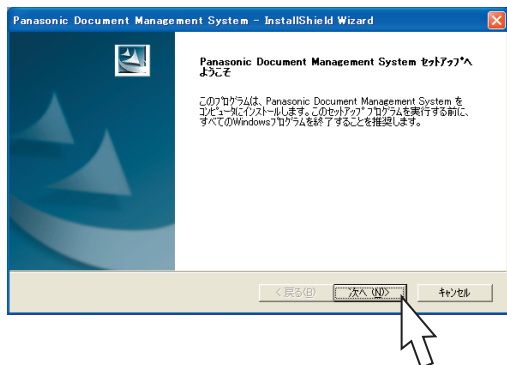
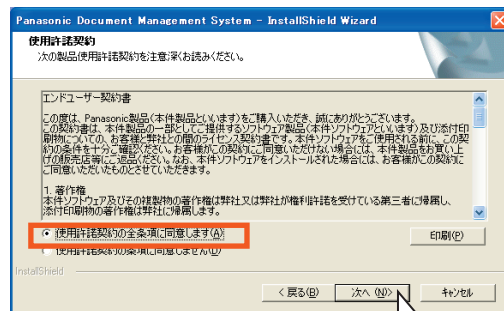
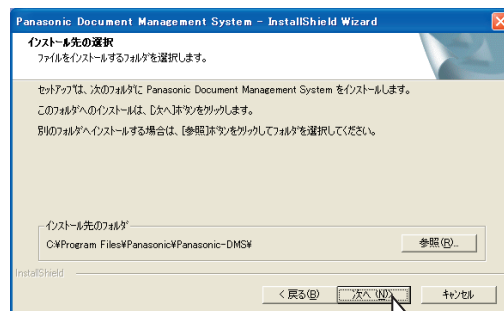
1 付属の CD-ROM「Panasonic Document Management System」を、お使いのコンピューターにセットする

オープニング画面が表示されます。

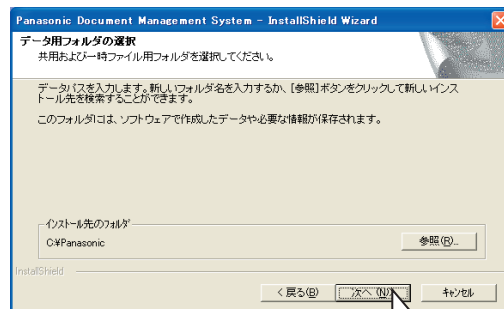
- オープニング画面が表示されない場合は、マイコンピューターを開き、CD-ROM ドライブ内の「Launch.exe」をダブルクリックしてください。

2 ［次へ］をクリックする

3 ［Panasonic-DMS］をクリックする

- Panasonic-DMS は、Panasonic Document Management System の略語です。

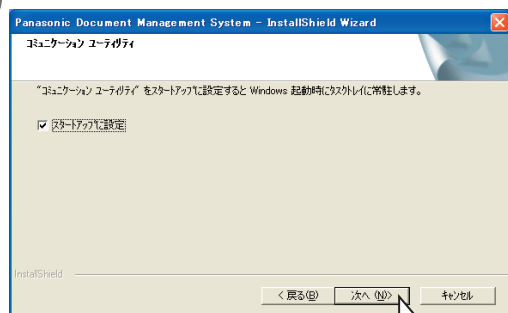
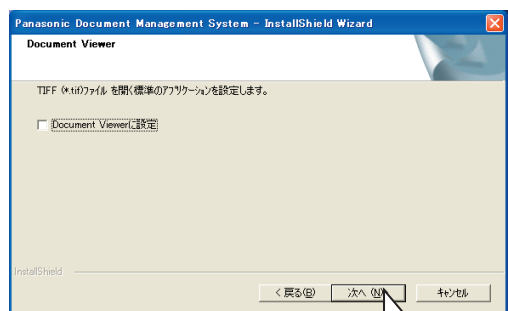
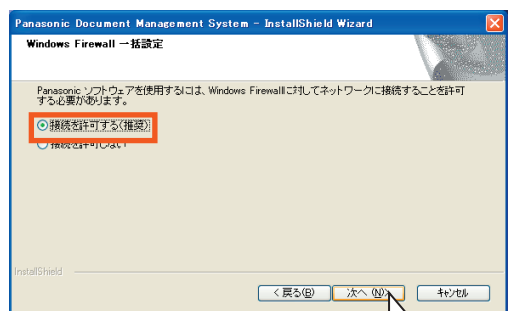
4 ［Panasonic-DMS ソフトウェア インストール］をクリックする

5 インストールするソフトウェアを選択して、［インストール］をクリックする

● 各ソフトウェアの詳細については、手順３の［ソフトウェアの概要］を選択するとご覧いただけます。手順３へ戻るときは、［戻る］を2回クリックしてください。

セットアップの準備画面が表示されます。

6 ［次へ］をクリックする

7 ［使用許諾契約の全条項に同意します］を選択し、［次へ］をクリックする

8 ［次へ］をクリックする

● すでに別の機種のPanasonic-DMSがインストールされているときは、上記画面は表示されません。

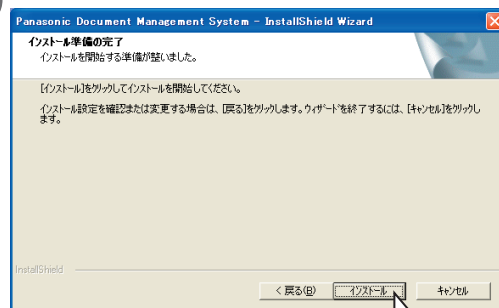
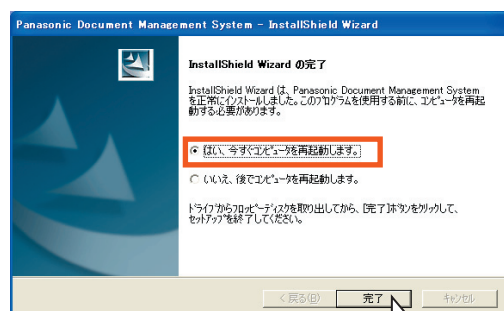
9 ［次へ］をクリックする

● すでに別の機種のPanasonic-DMSがインストールされているときは、上記画面は表示されません。

次ページへ続く ▶▶▶

10 [次へ] をクリックする

11 [次へ] をクリックする

12 Windows XP Service Pack 2 がインストールされている場合は、下記の画面が表示されます。

[接続を許可する (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックする

● [接続を許可する（推奨)] を選択せずにインストールを終了すると、ソフトウェアが正常に動作しません。

このような場合は、「■こんなときには」(p.53) を参照して、Windows ファイアウォールの設定を変更してください。

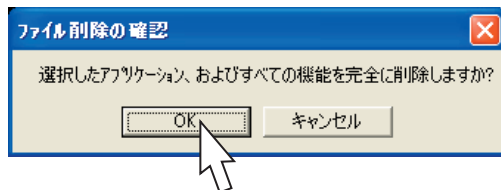
13 [インストール] をクリックする

14 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、[完了] をクリックする

■ Panasonic Document Management System の一括アンインストール

Panasonic Document Management System ソフトウェアを、一括して削除（アンインストール）する手順を説明します。

- Windows XP の場合は、コンピューターの管理者のユーザーアカウントでログインしてください。Windows Server 2003/2000/NT の場合は、Administrator 権限でログインしてください。
- ここでは、すべての Panasonic Document Management System ソフトウェアを削除する操作を説明しています。
  ソフトウェアを個別に削除（アンインストール）する場合は、付属の CD-ROM「Panasonic Document Management System」内の各ソフトウェアの説明書を参照してください。

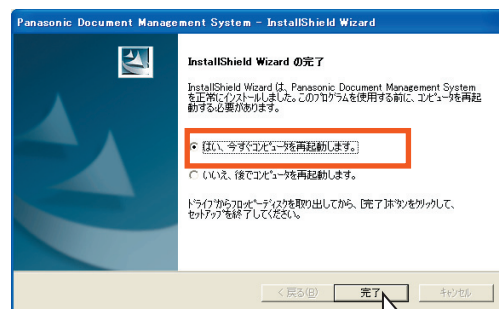
1 次の順番に［アンインストール］を選択する

［スタート］→［すべてのプログラム］→［Panasonic］→［Panasonic Document Management System］→［アンインストール］

2 ［OK］を押す

Panasonic Document Management System ソフトウェアの削除が開始されます。削除が終了すると、［InstallShield Wizard の完了］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択し、［完了］を押す

インストール

Panasonic Document Management System のインストール

スキャナーの設定（オプション）

■スキャナーの設定手順

1. Panasonic Document Management System をインストールします。

(p.36 ～ 38 参照)

2. コミュニケーション ユーティリティソフトウェアでスキャナーを設定します。
   - 本機にコンピューター名が自動で登録・表示されます。

(p.40 ～ 41 参照)

3. 上記の手順で設定したコンピューター名が本機のタッチパネルディスプレイ上に表示されているかを確認します。
   詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「スキャンデータをコンピューターに送信する」を参照ください。

- コミュニケーション ユーティリティソフトウェアを終了するか、コンピューターをネットワークから切断または、コンピューターの電源を切ると本機のタッチパネル上に表示されたコンピューター名は、自動的に消えます。
- 本機のタッチパネル上には、同様に設定されたネットワーク上の他のコンピューター名が表示されます。(最大 120 台まで)

■コミュニケーション ユーティリティのセットアップ

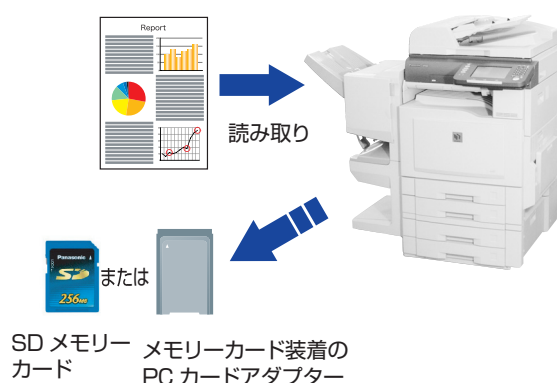
スキャンデータをコンピューターへ送るには

あらかじめ、コンピューターに Panasonic Document Management System ソフトウェアをインストールしてスキャナーを設定しておく必要があります。

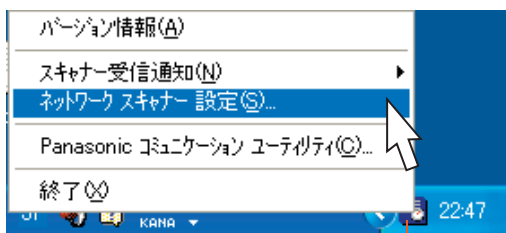
読み取ったデータを SD メモリーカードまたは PC カードアダプター内のメモリーカードに保存するには

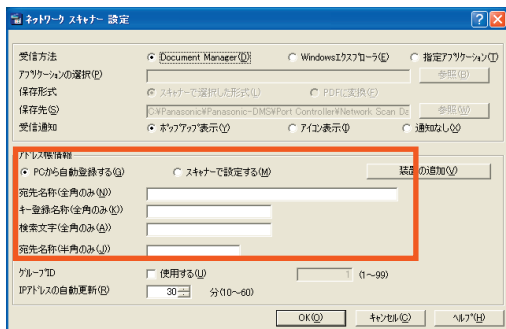
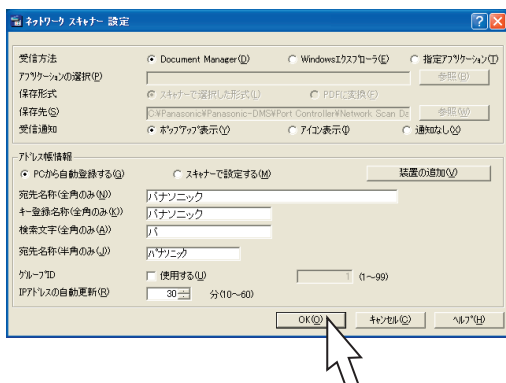
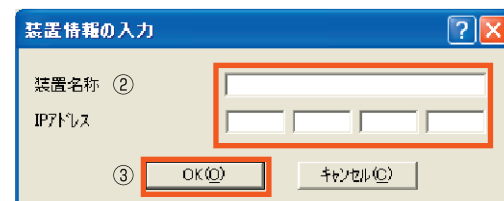
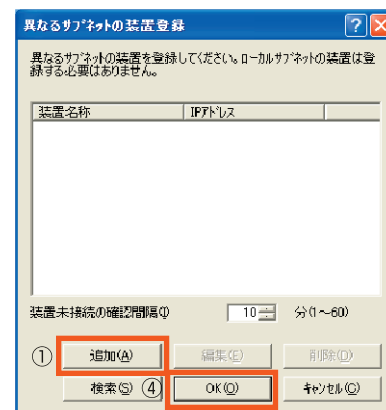
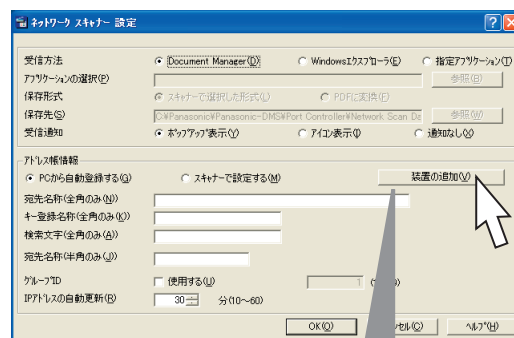
読み取ったデータを、直接 SD メモリーカードまたは PC カードアダプター内のメモリーカードに保存できます。

特に事前の設定はありません。

SD メモリーカード　メモリーカード装着の PC カードアダプター

お知らせ

- SD ロゴは商標です。
- SD ロゴマーク入りの純正の SD カード (最大 1GB) だけを使用できます。

1 タスクバーの [Panasonic コミュニケーションユーティリティ] アイコンを右クリックし、[ネットワークスキャナー設定] を選択する

[Panasonic コミュニケーション ユーティリティ] アイコン

2 [アドレス帳情報] の [PC から自動登録する] を選択し、宛先名称、キー登録名称、検索文字、宛先名称を設定する

3 [OK] をクリックする

4 コンピューターが、本機とは異なるサブネット上にある場合は、[装置の追加] をクリックする

①[追加] をクリック
②本機のデバイス名と IP アドレスを入力
③[OK] をクリック
④[OK] をクリック

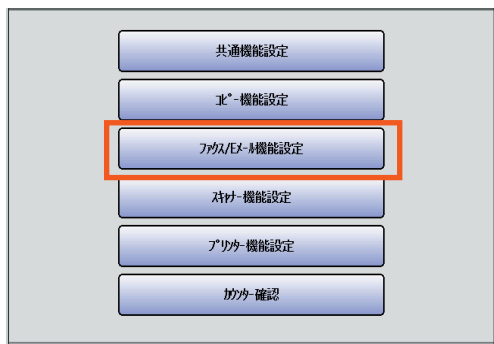
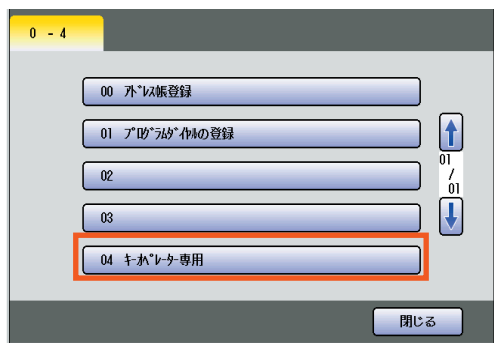
● サブネットについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

ファクスの設定 (DP-C262/DP-C322 オプション)

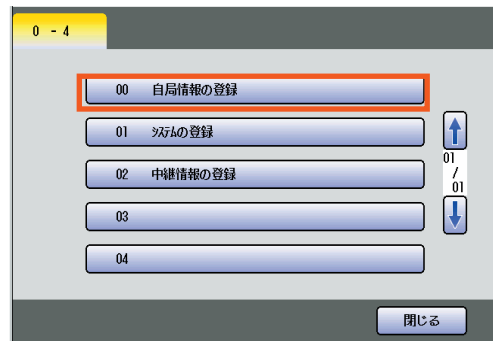
自局情報 (発信元情報、文字 ID、数字 ID)、回線の種別を設定します。

- 2回線の電話回線を接続する場合は、[08 回線2数字IDの登録]で2回線目の数字IDを設定してください。
- ネットワーク接続しないときは、DHCP 機能設定を [なし] に設定してください。(p.6)

1 **<ファンクション>**を押す

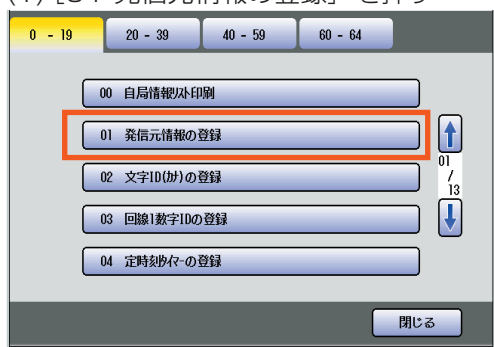
2 [ファクス /E メール機能設定] を押す

3 [04 キーオペレーター専用] を押す

4 パスワード (4 桁) を入力し、[OK] を押す

- パスワードの初期値は、「0000」です。変更されているときは、管理者へお問い合わせください。

5 [00 自局情報の登録] を押す

● ISDN 回線を接続する場合は、『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編)』の付録を参照して設定してください。
● 文字入力のしかたは、『取扱説明書（基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

6 <発信元情報>

会社名、または自分の名前を入力する

(1) [01 発信元情報の登録] を押す

(2) 発信元情報を入力し、[OK] を押す
（全角 20 文字以内）

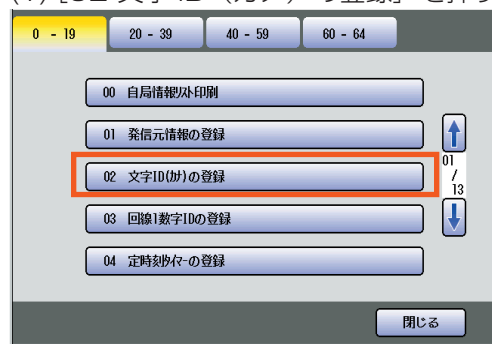
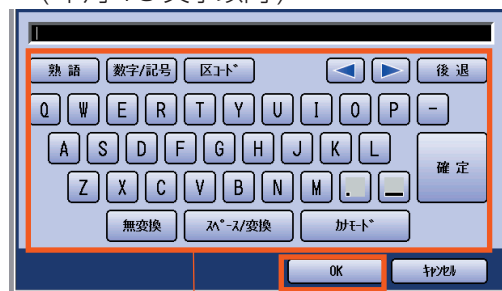
①　②

● 誤って入力した場合は、次の手順で修正します。

(1) ◀ または ▶を押し、修正したい文字の右側にカーソルを移動する
(2) [後退] を押して文字を削除し、正しい文字を入力する

7 <文字 ID >

会社名、または自分の名前をカタカナで入力する

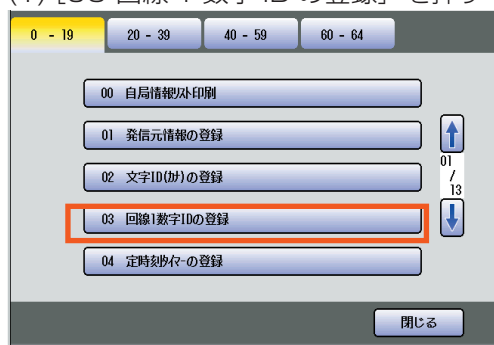
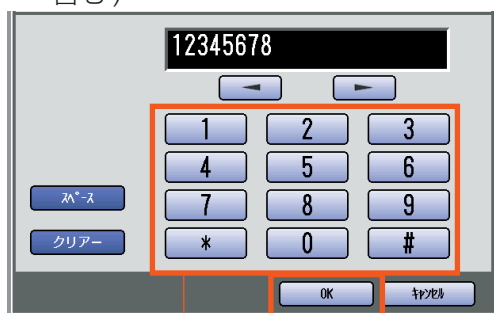
(1) [02 文字 ID（カナ）の登録] を押す

(2) 文字 ID（カナ）を入力し、[OK] を押す
（半角 16 文字以内）

①　②

● 半角英数字で入力することもできます。
● 誤って入力した場合は、次の手順で修正します。

(1) ◀ または ▶を押し、修正したい文字の右側にカーソルを移動する
(2) [後退] を押して文字を削除し、正しい文字を入力する

次ページへ続く ▶▶▶

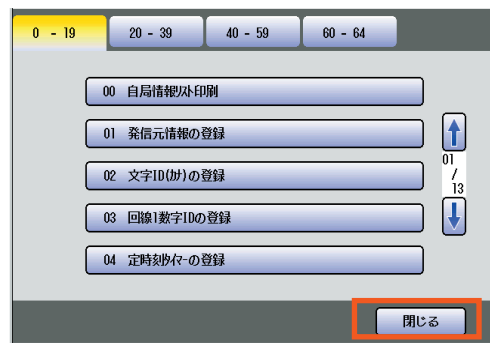
8 <数字 ID >
ファクスの電話番号を入力する

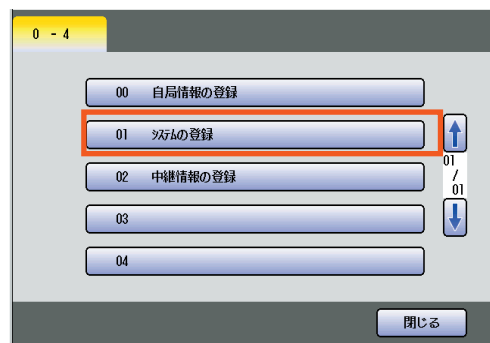
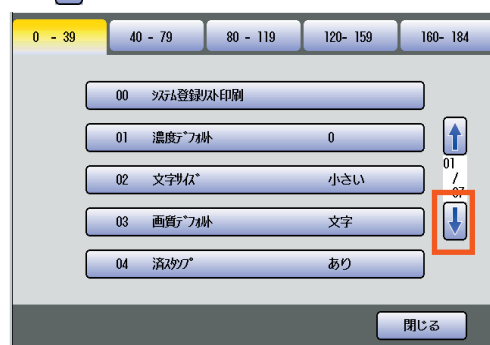
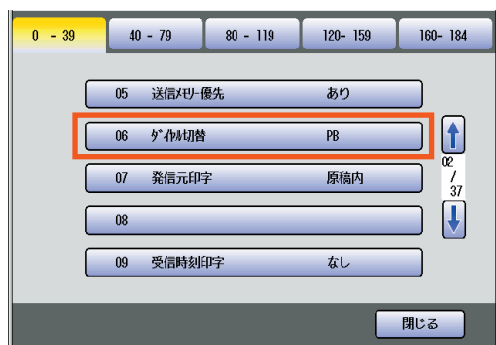
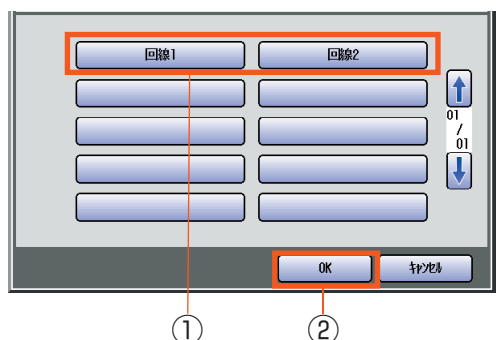
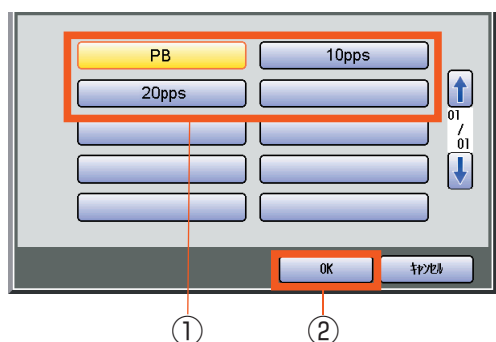
(1) [03 回線 1 数字 ID の登録］を押す

(2) ファクスの電話番号を入力し、[OK］を押す (最大 20 桁 / 半角スペースを含む)

- 誤って入力した場合は、次の手順で修正します。
  (1) ◀ または ▶ を押し、修正したい文字の右側にカーソルを移動する
  (2) [クリアー］を押して文字を削除し、正しい文字を入力する
- 数字 ID の前にプラス記号を付け、続く番号が国際電話番号であることを示すこともできます。
- [＊］を押すと、+を入力できます。

例：　+81 3 111 2345

[＊］81 [スペース］3 [スペース］111 [スペース］2345

(+81 は海外通信用の日本の国際電話コードです)

(3) [閉じる］を押す

9 <ダイヤル切替>
電話回線の種類を選択する

(1) [システムの登録］を押す

(2) ⬇ を押す

(3) ［ダイヤル切替］を押す

(4) オプションの G3 増設ユニット装着時のみ、設定する回線を選択し、［OK］を押す

(5) お使いの電話回線の回線種類を選択し、［OK］を押す

(6) 増設回線がある場合は、手順 (4) ～ (5) を繰り返す

10 <リセット>を押す

- 本機を接続する電話回線に「ナンバーディスプレイ（発信者番号通知）サービス」または「モデムダイヤルインサービス」を契約している場合には、次の設定が必要になります。
  - **ナンバーディスプレイサービスを契約しているとき：**
    ［ファクス /E メール機能設定］ ＞ ［04 キーオペレーター専用］ ＞ ［01 システムの登録］＞［175 発番号ルーティング］を ［あり］ に設定してください。
  - **モデムダイヤルインサービスを契約しているとき：**
    ［ファクス /E メール機能設定］ ＞ ［04 キーオペレーター専用］ ＞ ［01 システムの登録］ ＞ ［176 ダイヤルインルーティング］を［あり］に設定してください。
- ファンクション設定の操作については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4章　ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

Eメール/インターネットFAXの設定（オプション）

■Eメール/インターネットFAXの設定手順

1. 本機の操作パネルでネットワークのメール環境を設定します。

● 本設定は、ネットワーク管理者の方が行ってください。

2. 必要に応じてアドレス帳を登録します。

● 『取扱説明書（基本編）』を参照してください。

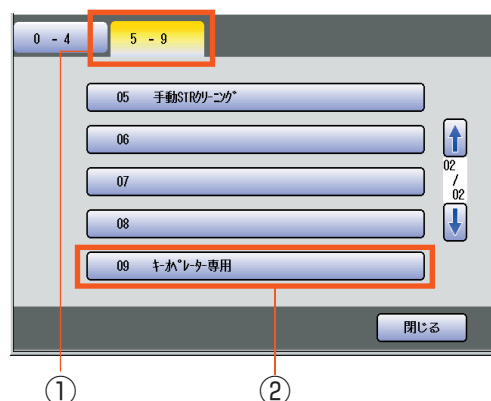
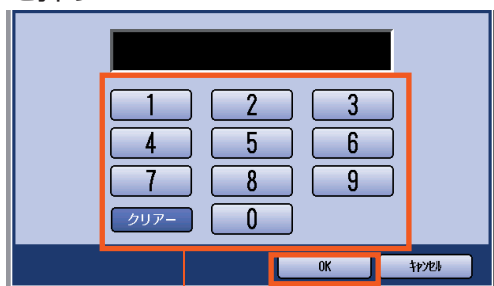
● ネットワーク環境を設定する前に IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを登録しておく必要があります。
「ネットワークの設定」を参照してください（p.6 ～ 8）。

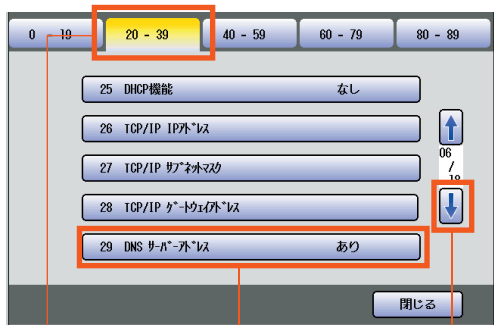
設定された内容をメモしておくと便利です。（p.51）

■ネットワークのメール環境を設定する

1 **<ファンクション>**を押す

2 ［共通機能設定］を押す

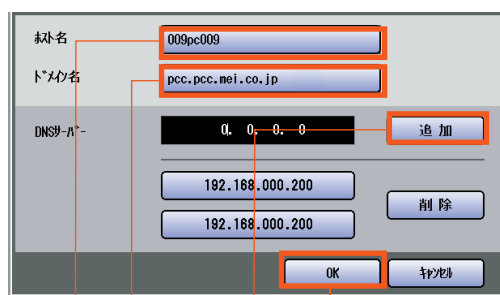
3 ［5-9］を押し、［09　キーオペレーター専用］を押す

4 パスワード (4 桁) を入力し、[OK] を押す

● パスワードの初期値は、「0000」です。変更されているときは、管理者へお問い合わせください。

5 [20 ～ 39] を押した後、⬇を押してページをめくり、[29 DNS サーバーアドレス] を押す

6 [あり] を押し、[OK] を押す

[なし] を選択したときは、手順 8 に進みます。

手順 6 で [あり] を選択したとき

7 ご使用のメールサーバー情報を入力する

・ホスト名、ドメイン名、DNS サーバーアドレス等

①「ホスト名」の右の空白部分を押し、表示されたキーボード画面でホスト名（半角 60 文字以内）を入力して［OK］を押す

②「ドメイン名」の右の空白部分を押し、表示されたキーボード画面でドメイン名（半角 50 文字以内）を入力して［OK］を押す

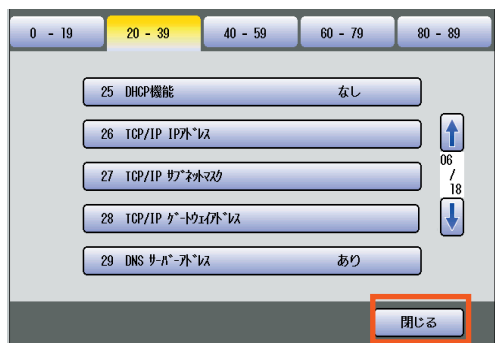
③「DNS サーバー」で DNS サーバーのアドレスをテンキーで入力して、［追加］を押す

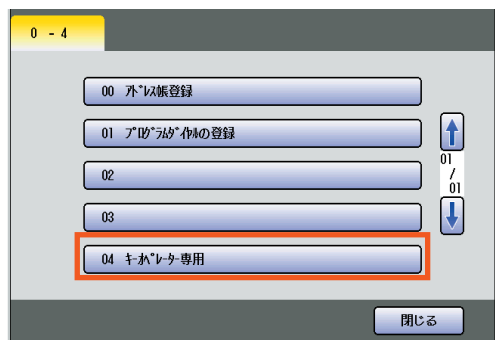
● 3 桁 x 4 のアドレス（数字）を入力してください。
例：192.168.0.200 の場合
192.168.000.200 と入力する。

● 誤って入力したときは、操作パネルの **<クリアー>**を押して数字を削除し、正しい数字を入力します。

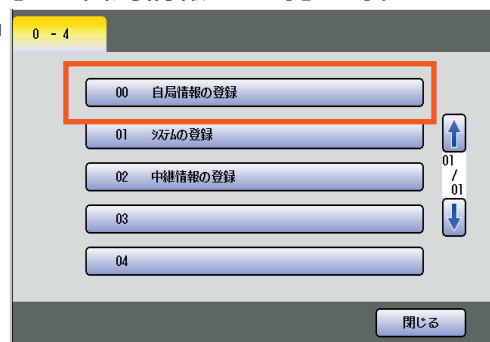
④［OK］を押す

次ページへ続く ▶▶▶

8 ［閉じる］を押す

9 ［ファクス /E メール機能設定］を押す

10 ［04 キーオペレーター専用］を押す

11 パスワード (4 桁) を入力し、［OK］を押す

- パスワードの初期値は、「0000」ですが、変更されているときは、管理者へお問い合わせください。

12 ［00 自局情報の登録］を押す

13 本機の E メールアドレスを設定する

(半角 60 文字以内)

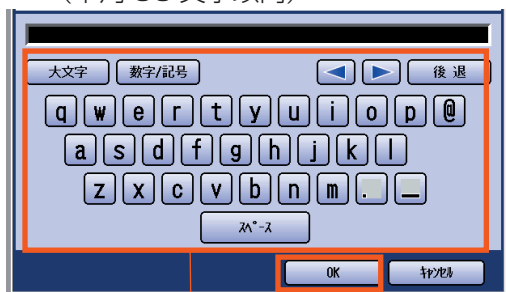
(1) ↓を 3 回押す

(2)［15 自局メールアドレス］を押す

(3) E メールアドレスを入力し、［OK］を押す

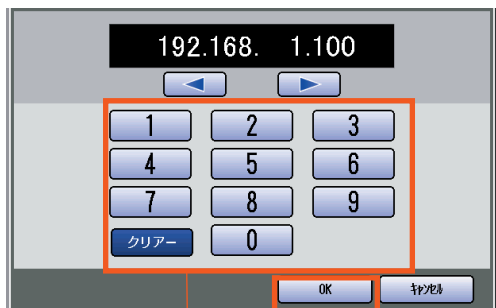
14 手順６でDNSサーバーアドレスを[あり]にしたときは、メールサーバー（SMTPサーバー）名を設定する

(1)［16 メールサーバー名］を押す

(2) メールサーバー（SMTPサーバー）名を入力し、[OK] を押す（半角60文字以内）

(3) ポート番号＊を確認し、[OK] を押す

15 手順６でDNSサーバーアドレスを[なし]にしたときは、メールサーバー（SMTPサーバー）のIPアドレスを設定する

(1)［17 メールサーバーIPアドレスの登録］を押す

(2) メールサーバー（SMTPサーバー）のIPアドレスを入力し、[OK] を押す

(3) ポート番号＊を確認し、[OK] を押す

＊ ポート番号の初期値は「25」と表示されます。変更するときは、[クリアー]を押し、正しいポート番号を入力してください。

16 手順６でDNSサーバーアドレスを［あり］にしたときは、POP受信サーバー名を設定する

(1) ［↓］を押す

(2)［20 POPサーバー名］を押す

● このメニューは、オプションのインターネットFAXユニット装着時だけ表示されます。

(3) POP受信サーバー名を入力し、[OK] を押す（半角60文字以内）

(4) ポート番号＊を確認し、[OK] を押す

＊ ポート番号の初期値は「110」と表示されます。変更するときは、[クリアー] を押し、正しいポート番号を入力してください。

次ページへ続く ▶▶▶

17 手順6でDNSサーバーアドレスを[なし]にしたときは､POP受信サーバーのIPアドレスを設定する

(1) ↓を押して、次の画面で［21 POP サーバー IP アドレスの登録］を押す

● このメニューは、オプションのインターネットFAXユニット装着時だけ表示されます。

(2) POP 受信サーバーの IP アドレスを入力し、［OK］を押す

(3) ポート番号を確認し、［OK］を押す

● ポート番号の初期値は「110」と表示されます。変更するときは、［クリアー］を押し、正しいポート番号を入力してください。

18 POPユーザー名を設定する

(1)［22 POP ユーザー名］を押す

● このメニューは、オプションのインターネットFAXユニット装着時だけ表示されます。

(2) POP ユーザー名を入力し、［OK］を押す（半角 60 文字以内）

19 POPパスワードを設定する

(1)［23 POP パスワード］を押す

● このメニューは、オプションのインターネットFAXユニット装着時だけ表示されます。

(2) POP パスワードを入力し、［OK］を押す（半角 10 文字以内）

20 <リセット>を押す

21 スタンバイスイッチを切り、もう一度入れる

● 必ず行ってください。

● スタンバイスイッチは本機の左側にあります。

設定された内容を下記にメモしておくと便利です。

<メールサーバー情報>

ホスト名：

ドメイン名：

DNS サーバーアドレス：

自局メールアドレス：

メールサーバー（SMTP サーバー）アドレス：

POP 受信サーバーアドレス：

POP ユーザー名：

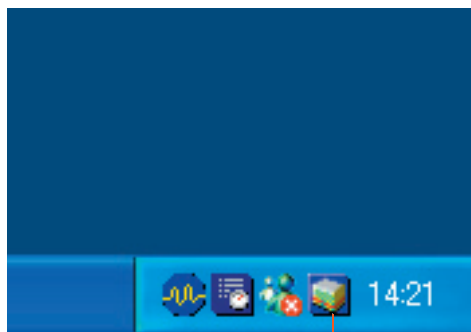
POP パスワード：

Completion Notice を設定する

Completion Notice ソフトウェアは、プリンタードライバー、またはファクスドライバーをインストールすると、自動的にインストールされます。
コピーやファクスの動作が終了すると、コンピューターに終了通知のポップアップウィンドウが表示されます。

■ 基本操作

1 付属の CD-ROM「Panasonic Document Management System」を使い、プリンタードライバー、またはファクスドライバーをインストールする

インストールが完了すると、タスクバーに Completion Notice アイコンが表示されます。

Completion Notice アイコン

- タスクバーに Completion Notice アイコンが表示されない場合は、[スタート]、[すべてのプログラム]、[Panasonic]、[Completion Notice]、[Completion Notice] の順に選択します。
  Completion Notice アイコンが表示されます。

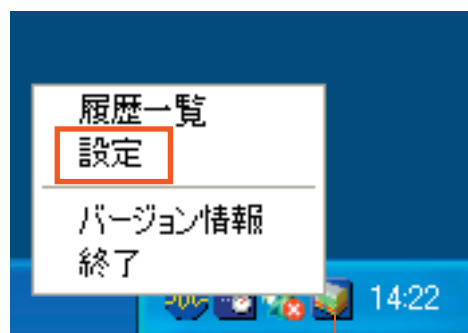
2 ■PC ファクス、プリントの場合

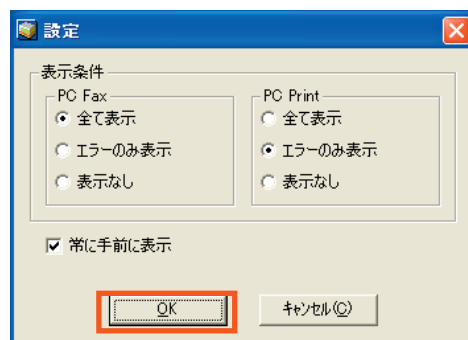
Completion Notice を右の手順で設定する

■コピー、ファクス、インターネット FAX の場合

①「コミュニケーション ユーティリティのセットアップ」を参照してください。(p.40 ～ 41)
②本機のタッチパネルディスプレイで、コンピューターを選択します。詳しくは、CD-ROM 内の各機能の説明書を参照してください。

■ PC ファクス、プリントの場合

1 タスクバーの Completion Notice アイコンを右クリックし、[設定] を選択する

Completion Notice アイコン

2 Completion Notice ウィンドウの表示状態を選択し、[OK] を選択する

全て表示	:	すべての通信または印刷ごとに表示
エラーのみ表示	:	エラーが発生したときだけ表示
表示なし	:	表示しない

付録

■ こんなときには

ソフトウェアを正常にインストールできない場合、インストールはできるがソフトウェアが正常に動作しない場合は、次の項目をチェックしてください。

ウイルスチェックソフトウェアについて

ウイルスチェックソフトウェアなどが動作しているコンピューターでは、インストールが正常に完了しないことがあります。ソフトウェアのインストールは、ウイルスチェックソフトウェアを停止してから行ってください。

インストールが正常に完了した場合でも、一部のウイルスチェックソフトウェアを動作させるとソフトウェアが正常に動作しないことがあります。ウイルスチェックソフトウェアごとの対応については、以下の弊社 Web ページを参照してください。

http://panasonic.co.jp/pcc/info/dwnld.html

Windows ファイアウォールへの対応について

Windows XP Service Pack 2 では、インストール時の規定で Windows ファイアウォールが有効に設定されます。Windows ファイアウォールとは、ウイルスやインターネット経由でコンピューターにアクセスしようとする侵入者から、コンピューターを防御するためのセキュリティ強化機能です。

Windows ファイアウォールが有効に設定されていると、コンピューターとネットワークやインターネット間で通信される情報を監視し、制限する機能がはたらきます。

インストールしたソフトウェアを正常に動作させるには、インストール時に表示される［Windows Firewall 一括設定］画面で、［接続を許可する（推奨）］を選択する必要があります。

この画面で、接続を許可せずにインストールを終了すると、ソフトウェアは正常に動作しません。

このような場合は、次の手順で Windows ファイアウォールの設定を変更してください。

- Windows Firewall Setting Tool は、プリンタードライバー / ファクスドライバー /Panasonic Document Management System ソフトウェアのインストール時に自動的にインストールされます。Windows Firewall Setting Tool を削除（アンインストール）すると、これらのソフトウェアの接続許可の設定はすべて無効になります。

1 ［スタート］、［すべてのプログラム］、［Panasonic］、［Windows Firewall Setting Tool］、［Windows Firewall Setting Tool］の順に選択する

2 ［接続を許可する］を選択し、［OK］をクリックする

3 ［OK］をクリックする

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT、Windows Server、PowerPoint、Outlook は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel ロゴ、Intel Inside ロゴ、Itanium、Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

USB-IF のロゴは Universal Serial Bus Implementers Forum, Inc の商標です。

TrueType は、米国 Apple Computer, Inc の登録商標です。

Novell, NetWare, intraNetWare, NDS は、米国 Novell, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

PEERLESSPage ™は PEERLESS Systems Corporation の商標です。
PEERLESSPrint® と Memory Reduction Technology® は PEERLESS Systems Corporation の登録商標です。

PCL は、米国ヒューレット・パッカード社およびその子会社の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript3、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Universal Font Scaling Technology (UFST) および、そのすべての書体は Agfa Monotype 社よりライセンスを受けています。

ColorTune® は米国の特許商標局で登録されている Agfa-Gevaert N.V. の登録商標であり、そして他の管轄区域で登録されている場合があります。
Agfa Monotype Corporation からライセンスしている ColorTune® の技術により、生成および編集したカラープロファイルを使用しています。

その他の本書に記載されている会社名および製品名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。

本機には GNU General Public License に基づきライセンスされるプログラム、GNU Lesser General Public License に基づきライセンスされるプログラムおよびその他のオープンソフトウェアが含まれています。その詳細及びライセンス条件については、添付の取扱説明書 CD-ROM を参照してください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番 DP- C262/C262F/C322/C322F
販売店名	電話（　　）　　ー	
サ ー ビ ス 実 施 会 社 名	電話（　　）　　ー	

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
オフィスネットワークカンパニー

〒153- 8687 東京都目黒区下目黒 2- 3- 8　　電話 (03)3491- 9191

L0505-3206
PJQMC0306YC
February 2006
Printed in Japan